

大学番号 私立30

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 大学の設置
注1



育英大学 教育学部 教育学科 児童教育専攻
注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人群馬育英学園
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	シュニン ニシムラ ヨシタカ 主任 西村 佳貴
電話番号 (夜間)	
e-mail	

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人群馬育英学園

(2) 大学名 育英大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒371-0011
群馬県高崎市京目町1656-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カムラ ヨシヒロ) 中村 義寛 (平成15年1月)		
学長	(イシイ マサフミ) 石井 學 (平成30年4月)		
学部長	(フジイ ヤスヒキ) 新井 保幸 (平成30年4月)		
学科長等	(フジイ ヤスヒキ) 新井 保幸 (平成30年4月)		学部長と兼務

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 児童教育専攻 学士(教育学)	教育学・保育学関係	年 4	人 50	年次人 -	人 200		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 -	人 -	人 50	人 -	人 50	人 -	人 50	人 -	人 50	人 -	0.95倍	-	()は2年次編入 (())は3年次編入
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
入学定員超過率 B/A	-	-	0.5	-	0.86	-	1.30	-	1.14	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	25 [—] (—)	— [—] (—)	39 [—] (—)	— [—] (—)	62 [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	令和元年度に2年次編入2名入学 令和2年度に2年次編入1名入学 令和2年度に3年次編入2名入学 令和3年度に3年次編入4名入学		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	27 [—] (—)	— [—] (—)	39 [—] (—)	— [—] (—)	64 [—] (2) (—)	— [—] (—)			
3年次			— [—] (—)	— [—] (—)	28 [—] (—)	— [—] (—)	42 [—] (1) (—)	— [—] (—)					
4年次			— [—] (—)	— [—] (—)	27 [—] (—)	— [—] (—)							
計			— [—] (—)	25 [—] (—)	66 [—] (—)	129 [—] (—)	186 [—] (—)						

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	25 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	68 人	2 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	2 人	0 人	除籍(1人)、進路変更(1人)
令和2年度	131 人	2 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			令和元年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	186 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{68} = \boxed{2.94} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{131} = \boxed{1.52} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{186} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	図画工作	2前	2			1						
	家庭	2後	2								1	
	体育	2前	2					1				
	外国語活動	2前	2									1
	初等教科教育法(国語)	3前	2			1						
	初等教科教育法(社会)	3後	2									1
	初等教科教育法(算数)	3前	2			1						
	初等教科教育法(理科)	3後	2									1
	初等教科教育法(生活)	3前	2									1
	初等教科教育法(音楽)	3前	2			1						
	初等教科教育法(図画工作)	3前	2				1					
	初等教科教育法(家庭)	3後	2									1
	初等教科教育法(体育)	3前	2				1					
	教育課程論(幼・小)	2前	2						1			
	道徳の指導法(小)	2後	2									1
	特別活動の指導法(小)	3後	2									1
	教育方法論(幼・小)	2後	2						1			
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前	2									1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後	2				1					
	保育内容総論	2前	2									1
	保育内容(健康)	2後	2									1
	保育内容(人間関係)	2後	2									1
	保育内容(環境)	3前	2									1
	保育内容(言葉)	3前	2									1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前	2			1						
	保育内容(表現Ⅱ)	3後	2				1					
	幼児理解の理論と方法	2後	2									1
	保育原理	1後	2									1
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2									2
	子どもの心理学Ⅱ	2後	1									2
	児童家庭福祉	2後	2			1						
	社会福祉	2後	2			1						
	相談援助	3前	1			1						
	社会的養護	2後	2			1						
	子どもの保健Ⅰ	3前	4									1
	子どもの保健Ⅱ	3後	1									1
	子どもの食と栄養	3後	2									1
	家庭支援論	3前	2			1						
	乳児保育	3前	2									1
	障害児保育	3後	2									1
社会的養護内容	3後	1			1							
言語表現	2後	2									1	
体育実技Ⅰ	1後	1			1						1	
体育実技Ⅱ	2前	1									2	
体育実技Ⅲ	2前	1									2	
体育実技Ⅳ	2後	1									1	
体育実技Ⅴ	2後	1			1							
体育実技Ⅵ	1後	1									1	
体育実技Ⅶ	2後	1				1	1					
体育原理	1後	2									2	
運動学・運動方法学	2後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	図画工作	2前	2			1						
	家庭	2後	2									1
	体育	2前	2					1				
	外国語活動	2前	2									1
	初等教科教育法(国語)	3前	2			1						
	初等教科教育法(社会)	3後	2									1
	初等教科教育法(算数)	3前	2			1						
	初等教科教育法(理科)	3前	2									1
	初等教科教育法(生活)	3前	2									1
	初等教科教育法(音楽)	3前	2			1						
	初等教科教育法(図画工作)	3前	2				1					
	初等教科教育法(家庭)	3後	2									1
	初等教科教育法(体育)	3前	2				1					
	教育課程論(幼・小)	2前	2						1			
	道徳の指導法(小)	2後	2									1
	特別活動の指導法(小)	3後	2									1
	教育方法論(幼・小)	2後	2						1			
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前	2									1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後	2				1					
	保育内容総論	2前	2									1
	保育内容(健康)	2後	2									1
	保育内容(人間関係)	2後	2									1
	保育内容(環境)	3前	2									1
	保育内容(言葉)	3前	2									1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前	2			1						
	保育内容(表現Ⅱ)	3後	2				1					
	幼児理解の理論と方法	2後	2									1
	保育原理	1後	2									1
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2									2
	子どもの心理学Ⅱ	2後	1									2
	児童家庭福祉	2後	2			1						
	社会福祉	2後	2			1						
	相談援助	3前	1			1						
	社会的養護	2後	2			1						
	子どもの保健Ⅰ	3前	4									1
	子どもの保健Ⅱ	3後	1									1
	子どもの食と栄養	3後	2									1
	家庭支援論	3前	2			1						
	乳児保育	3前	2									1
	障害児保育	3後	2									1
社会的養護内容	3後	1			1							
言語表現	2後	2									1	
体育実技Ⅰ	1後	1			1						1	
体育実技Ⅱ	2前	1									2	
体育実技Ⅲ	2前	1									2	
体育実技Ⅳ	2後	1									1	
体育実技Ⅴ	2後	1			1							
体育実技Ⅵ	1後	1									1	
体育実技Ⅶ	2後	1				1	1					
体育原理	1後	2									2	
運動学・運動方法学	2後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	体育心理学	2前		2								1
	体育経営管理学	2後		2								1
	体育社会学	2前		2								1
	生理学・運動生理学	2前		2			1					1
	衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2								1
	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1						
	中等教科教育法Ⅰ(体育)	3前		2		1						
	中等教科教育法Ⅱ(体育)	3後		2		1						
	中等教科教育法Ⅲ(保健)	3前		2								1
	中等教科教育法Ⅳ(保健)	3後		2								1
	教育課程論(中・高)	2前		2		1						
	道徳の指導法(中)	2後		2		1						
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1
	教育方法論(中・高)	2前		2				1				
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1
	教育相談の理論と方法(中・高)	3前		2								1
	体力測定・評価法	2後		2			1					
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1					
	コーチング論	2前		2		1						
トレーニング論	3前		2			1						
健康管理論	2前		2		1	1						
健康教育論	2後		2								1	
バイオメカニクス	2後		2								1	
発展科目	発達心理学	2後		2								1
	学校心理学	3後		2		1						
	カウンセリング論	3前		2			1					
	学校・学級経営	3前		2		1						
	チーム学校論	4後		2								1
	発達障害	2後		2								1
	特別支援教育	3前		2								1
	授業観察演習	3後		1		2	1	2				
	授業実践演習	3後		1		2	1	2				
関連科目	行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1
	心理学基礎実験	2後		2								1
	心理学実験演習	3後		2								1
	社会心理学	2後		2								1
	コミュニケーション心理学	4後		2		1						
	臨床心理学	2後		2			1					
	発達臨床心理学	3前		2			1					
	心理療法概論	3前		2			1					
	心理検査法	4後		2			1					
	発育・発達論	2前		2								1
	医学・スポーツ医学	2前		2								1
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1				
	心の健康と行動	3後		2								1
	スポーツ指導法	2後		2		1						
運動プログラム管理	3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	体育心理学	2前		2								1
	体育経営管理学	2後		2								1
	体育社会学	2前		2								1
	生理学・運動生理学	2前		2			1					1
	衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2								1
	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1						
	中等教科教育法Ⅰ(体育)	3前		2		1						
	中等教科教育法Ⅱ(体育)	3後		2		1						
	中等教科教育法Ⅲ(保健)	3前		2								1
	中等教科教育法Ⅳ(保健)	3後		2								1
	教育課程論(中・高)	2前		2		1						
	道徳の指導法(中)	2後		2		1						
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1
	教育方法論(中・高)	2前		2				1				
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1
	教育相談の理論と方法(中・高)	3後		2								1
	体力測定・評価法	2後		2			1					
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1					
	コーチング論	2前		2		1						
トレーニング論	3前		2			1						
健康管理論	2前		2		1	1						
健康教育論	2後		2								1	
バイオメカニクス	2後		2								1	
発展科目	発達心理学	2後		2								1
	学校心理学	3後		2		1						
	カウンセリング論	3前		2			1					
	学校・学級経営	3前		2		1						
	チーム学校論	4後		2								1
	発達障害	2後		2								1
	特別支援教育	3前		2								1
	授業観察演習	3後		1		2	2	1				
	授業実践演習	3後		1		2	2	1				
関連科目	行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1
	心理学基礎実験	2後		2								1
	心理学実験演習	3後		2								1
	社会心理学	2後		2								1
	コミュニケーション心理学	4後		2		1						
	臨床心理学	2後		2			1					
	発達臨床心理学	3前		2			1					
	心理療法概論	3前		2			1					
	心理検査法	4後		2			1					
	発育・発達論	2前		2								1
	医学・スポーツ医学	2前		2								1
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1				
	心の健康と行動	3後		2								1
	スポーツ指導法	2後		2		1						
運動プログラム管理	3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連科目	健康運動実践指導Ⅰ	3前	2								1	
		健康運動実践指導Ⅱ	3後	2								1	
		生涯スポーツⅠ	3前	1								1	
		生涯スポーツⅡ	3後	1								1	
		生涯スポーツⅢ	4前	1								1	
		地域スポーツ指導Ⅰ	4前	2				1	1				
		地域スポーツ指導Ⅱ	4後	2				1	1				
	実習科目	初等教職体験実習	1前	1			1		1				
		幼児教職体験実習	1前	1			1		1				
		中等教職体験実習	1前	1			1		1				
		健康体験実習	1前	1				1	1				
		初等教育実習 事前事後指導	4前	1			1	1					
		初等教育実習	4前	4			1	1					
		幼児教育実習 事前事後指導	4前	1					1				1
		幼児教育実習	4前	4					1				1
		保育実習指導Ⅰ	3後	2			2		1				
		保育実習Ⅰ	3後	4			2		1				
		保育実習指導Ⅱ	4前	1			2		1				
		保育実習Ⅱ	4前	2			2		1				
		中等教育実習 事前事後指導	4前	1			1		1				
		中等教育実習Ⅰ	4前	2			1		1				
		中等教育実習Ⅱ	4前	2			1		1				
		保育・教職 実践演習(幼)	4後	2			2		1				
		教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習(中・高)	4後	2			1		1					
	健康実践演習	4前	1			1	1						
	科目研究	教育学研究法	4前	2			11	4					
卒業研究		4後	2			11	4						
小計(148科目)		-	12	267	0	11	4	4	0	0	0	兼42	
合計(176科目)		-	28	289	0	11	4	4	0	0	0	兼54	
卒業要件及び履修方法													
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連科目	生活習慣病と身体運動	3後	2								1	
		健康運動特講Ⅰ	3前	2								1	
		健康運動特講Ⅱ	3後	2								2	
		健康運動実践指導Ⅰ	3前	2								1	
		健康運動実践指導Ⅱ	3後	2								1	
		生涯スポーツⅠ	3前	1								1	
		生涯スポーツⅡ	3後	1								1	
	生涯スポーツⅢ	4前	1								1		
	地域スポーツ指導Ⅰ	4前	2				1	1					
	地域スポーツ指導Ⅱ	4後	2				1	1					
	実習科目	初等教職体験実習	1前	1			1		1				
		幼児教職体験実習	1前	1					1				1
		中等教職体験実習	1前	1			1		1				
		健康体験実習	1前	1				1	1				
		初等教育実習 事前事後指導	4前	1			1	1					
		初等教育実習	4前	4			1	1					
		幼児教育実習 事前事後指導	4前	1					1				1
		幼児教育実習	4前	4					1				1
		保育実習指導Ⅰ	3後	2			2		1				1
		保育実習Ⅰ	3後	4			2		1				1
		保育実習指導Ⅱ	4前	1			2		1				1
		保育実習Ⅱ	4前	2			2		1				1
		中等教育実習 事前事後指導	4前	1			1		1				
		中等教育実習Ⅰ	4前	2			1		1				
		中等教育実習Ⅱ	4前	2			1		1				
		保育・教職 実践演習(幼)	4後	2			2		1				1
		教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
教職実践演習(中・高)	4後	2			1		1						
健康実践演習	4前	1			1	1							
科目研究	教育学研究法	4前	2			11	3						
	卒業研究	4後	2			12	3						
小計(151科目)		-	12	273	0	12	3	3	0	0	0	兼44	
合計(179科目)		-	28	295	0	12	3	3	0	0	0	兼57	
卒業要件及び履修方法													
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	初等教科教育法(社会)	3後		2							1
	初等教科教育法(算数)	3前		2		1					
	初等教科教育法(理科)	3後		2							1
	初等教科教育法(生活)	3前		2							1
	初等教科教育法(音楽)	3前		2		1					
	初等教科教育法(図画工作)	3前		2			1				
	初等教科教育法(家庭)	3後		2							1
	初等教科教育法(体育)	3前		2			1				
	教育課程論(幼・小)	2前		2				1			
	道徳の指導法(小)	2後		2							1
	特別活動の指導法(小)	3後		2							1
	教育方法論(幼・小)	2後		2				1			
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前		2							1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後		2			1				
	保育内容総論	2前		2							1
	保育内容(健康)	2後		2							1
	保育内容(人間関係)	2後		2							1
	保育内容(環境)	3前		2							1
	保育内容(言葉)	3前		2							1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前		2		1					
	保育内容(表現Ⅱ)	3後		2			1				
	幼児理解の理論と方法	2後		2							1
	保育原理	1後		2							1
	子どもの心理学Ⅰ	2前		2							2
	子どもの心理学Ⅱ	2後		1							2
	児童家庭福祉	2後		2		1					
	社会福祉	2後		2		1					
	相談援助	3前		1		1					
	社会的養護	2後		2		1					
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	家庭支援論	3前		2		1					
	乳児保育	3前		2							1
	障害児保育	3後		2							1
	社会的養護内容	3後		1		1					
	言語表現	2後		2							1
	体育実技Ⅰ	1後		1		1					1
	体育実技Ⅱ	2前		1							2
	体育実技Ⅲ	2前		1							2
体育実技Ⅳ	2後		1							1	
体育実技Ⅴ	2後		1		1						
体育実技Ⅵ	1後		1							1	
体育実技Ⅶ	2後		1		1	1					
体育原理	1後		2							2	
運動学・運動方法学	2後		2		1						
体育心理学	2前		2							1	
体育経営管理学	2後		2							1	
体育社会学	2前		2							1	
生理学・運動生理学	2前		2		1					1	
衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	初等教科教育法(社会)	3後		2							1
	初等教科教育法(算数)	3前		2		1					
	初等教科教育法(理科)	3後		2							1
	初等教科教育法(生活)	3前		2							1
	初等教科教育法(音楽)	3前		2		1					
	初等教科教育法(図画工作)	3前		2			1				
	初等教科教育法(家庭)	3後		2							1
	初等教科教育法(体育)	3前		2			1				
	教育課程論(幼・小)	2前		2				1			
	道徳の指導法(小)	2後		2							1
	特別活動の指導法(小)	3後		2							1
	教育方法論(幼・小)	2後		2				1			
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前		2							1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後		2			1				
	保育内容総論	2前		2							1
	保育内容(健康)	2後		2							1
	保育内容(人間関係)	2後		2							1
	保育内容(環境)	3前		2							1
	保育内容(言葉)	3前		2							1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前		2		1					
	保育内容(表現Ⅱ)	3後		2			1				
	幼児理解の理論と方法	2後		2							1
	保育原理	1後		2							1
	子どもの心理学Ⅰ	2前		2							2
	子どもの心理学Ⅱ	2後		1							2
	児童家庭福祉	2後		2		1					
	社会福祉	2後		2		1					
	相談援助	3前		1		1					
	社会的養護	2後		2		1					
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	家庭支援論	3前		2		1					
	乳児保育	3前		2							1
	障害児保育	3後		2							1
	社会的養護内容	3後		1		1					
	言語表現	2後		2							1
	体育実技Ⅰ	1後		1		1					1
	体育実技Ⅱ	2前		1							2
	体育実技Ⅲ	2前		1							2
体育実技Ⅳ	2後		1							1	
体育実技Ⅴ	2後		1		1						
体育実技Ⅵ	1後		1							1	
体育実技Ⅶ	2後		1		1	1					
体育原理	1後		2							2	
運動学・運動方法学	2後		2		1						
体育心理学	2前		2							1	
体育経営管理学	2後		2							1	
体育社会学	2前		2							1	
生理学・運動生理学	2前		2		1					1	
衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
展開科目	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1							
	中等教科教育法I(体育)	3前		2		1							
	中等教科教育法II(体育)	3後		2		1							
	中等教科教育法III(保健)	3前		2							1		
	中等教科教育法IV(保健)	3後		2							1		
	教育課程論(中・高)	2前		2		1							
	道徳の指導法(中)	2後		2		1							
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1	
	教育方法論(中・高)	2前		2				1					
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1	
	教育相談の理論と方法(中・高)	3前		2								1	
	体力測定・評価法	2後		2				1					
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1						
	コーチング論	2前		2		1							
	トレーニング論	3前		2			1						
	健康管理論	2前		2		1	1						
	健康教育論	2後		2								1	
	バイオメカニクス	2後		2								1	
	専門教育科目	発達心理学	2後		2								1
		学校心理学	3後		2		1						
カウンセリング論		3前		2			1						
学校・学級経営		3前		2		1							
チーム学校論		4後		2								1	
発達障害		2後		2								1	
特別支援教育		3前		2								1	
授業観察演習		3後		1		2	1	2					
授業実践演習		3後		1		2	1	2					
関連科目		行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1	
	心理学基礎実験	2後		2								1	
	心理学実験演習	3後		2								1	
	社会心理学	2後		2								1	
	コミュニケーション心理学	4後		2		1							
	臨床心理学	2後		2				1					
	発達臨床心理学	3前		2				1					
	心理療法概論	3前		2				1					
	心理検査法	4後		2				1					
	発育・発達論	2前		2								1	
	医学・スポーツ医学	2前		2								1	
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1	
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1	
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1					
	心の健康と行動	3後		2								1	
	スポーツ指導法	2後		2		1							
	運動プログラム管理	3後		2				1					
	健康運動実践指導I	3前		2								1	
	健康運動実践指導II	3後		2								1	
生涯スポーツI	3前		1								1		
生涯スポーツII	3後		1								1		
生涯スポーツIII	4前		1								1		
地域スポーツ指導I	4前		2				1	1					
地域スポーツ指導II	4後		2				1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
展開科目	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1							
	中等教科教育法I(体育)	3前		2		1							
	中等教科教育法II(体育)	3後		2		1							
	中等教科教育法III(保健)	3前		2								1	
	中等教科教育法IV(保健)	3後		2								1	
	教育課程論(中・高)	2前		2		1							
	道徳の指導法(中)	2後		2		1							
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1	
	教育方法論(中・高)	2前		2				1					
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1	
	教育相談の理論と方法(中・高)	3前		2								1	
	体力測定・評価法	2後		2				1					
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1						
	コーチング論	2前		2		1							
	トレーニング論	3前		2			1						
	健康管理論	2前		2		1	1						
	健康教育論(未開講)	2後		2								1	
	バイオメカニクス	2後		2								1	
	専門教育科目	発達心理学	2後		2								1
		学校心理学	3後		2		1						
カウンセリング論		3前		2			1						
学校・学級経営		3前		2		1							
チーム学校論		4後		2								1	
発達障害		2後		2								1	
特別支援教育		3前		2								1	
授業観察演習		3後		1		2	1	2					
授業実践演習		3後		1		2	1	2					
関連科目		行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1	
	心理学基礎実験	2後		2								1	
	心理学実験演習	3後		2								1	
	社会心理学	2後		2								1	
	コミュニケーション心理学	4後		2		1							
	臨床心理学	2後		2				1					
	発達臨床心理学	3前		2				1					
	心理療法概論	3前		2				1					
	心理検査法	4後		2				1					
	発育・発達論	2前		2								1	
	医学・スポーツ医学	2前		2								1	
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1	
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1	
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1					
	心の健康と行動	3後		2								1	
	スポーツ指導法	2後		2		1							
	運動プログラム管理	3後		2				1					
	健康運動実践指導I	3前		2								1	
	健康運動実践指導II	3後		2								1	
生涯スポーツI	3前		1								1		
生涯スポーツII	3後		1								1		
生涯スポーツIII	4前		1								1		
地域スポーツ指導I	4前		2				1	1					
地域スポーツ指導II	4後		2				1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	初等教職体験実習	1前		1		1		1				
	幼児教職体験実習	1前		1		1		1				
	中等教職体験実習	1前		1		1		1				
	健康体験実習	1前		1			1	1				
	初等教育実習 事前事後指導	4前		1		1	1					
	初等教育実習	4前		4		1	1					
	幼児教育実習 事前事後指導	4前		1				1			1	
	幼児教育実習	4前		4				1			1	
	保育実習指導Ⅰ	3後		2		2		1				
	保育実習Ⅰ	3後		4		2		1				
	保育実習指導Ⅱ	4前		1		2		1				
	保育実習Ⅱ	4前		2		2		1				
	中等教育実習 事前事後指導	4前		1		1		1				
	中等教育実習Ⅰ	4前		2		1		1				
	中等教育実習Ⅱ	4前		2		1		1				
	保育・教職 実践演習(幼)	4後		2		2		1				
	教職実践演習(小)	4後		2		1	1					
	教職実践演習 (中・高)	4後		2		1		1				
	健康実践演習	4前		1		1	1					
	科学研究	教育学研究法	4前	2			11	4				
	卒業研究	4後	2			11	4					
	小計(148科目)	-	12	267	0	11	4	4	0	0	兼42	
	合計(176科目)	-	28	289	0	11	4	4	0	0	兼54	
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	初等教職体験実習	1前		1		1		1				
	幼児教職体験実習	1前		1		1		1				
	中等教職体験実習	1前		1		1		1				
	健康体験実習	1前		1			1	1				
	初等教育実習 事前事後指導	4前		1		1	1					
	初等教育実習	4前		4		1	1					
	幼児教育実習 事前事後指導	4前		1				1			1	
	幼児教育実習	4前		4				1			1	
	保育実習指導Ⅰ	3後		2		2		1				
	保育実習Ⅰ	3後		4		2		1				
	保育実習指導Ⅱ	4前		1		2		1				
	保育実習Ⅱ	4前		2		2		1				
	中等教育実習 事前事後指導	4前		1		1		1				
	中等教育実習Ⅰ	4前		2		1		1				
	中等教育実習Ⅱ	4前		2		1		1				
	保育・教職 実践演習(幼)	4後		2		2		1				
	教職実践演習(小)	4後		2		1	1					
	教職実践演習 (中・高)	4後		2		1		1				
	健康実践演習	4前		1		1	1					
	科学研究	教育学研究法	4前	2			11	4				
	卒業研究	4後	2			11	4					
	小計(148科目)	-	12	267	0	11	4	4	0	0	兼42	
	合計(176科目)	-	28	289	0	11	4	4	0	0	兼55	
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法 情報活用法 統計分析法 問題解決法 創造思考法	1前 1後 1後 3前 3後	1 1 1 1 1			1					1 1 1 1	
	表現力の養成	英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践) 日本語Ⅰ(読解、分析) 日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション) (未開講)	1前 1後 2前 1前 1前 1後 2前	1 1 1 1 1 1 1		1						2 1 1 1 1 1 1	
	人間力の養成	自己管理と社会規範 チームワークとリーダーシップ 地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係	1前 2前 1前 1後	1 1 1 1		1						1 1	
	社会能力の養成	社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ	3後 4後	1 1								1 1	
	人間の理解	心理と行動 健康と運動 歴史と文化 民族と宗教 生命と倫理	1前 1前 2後 2後 4後		2 2 2 2 2		1					1 1 1 1	
	社会の理解	社会と憲法 法律と人権 政治と行政 経済と政策 自然と環境	1前 1後 2前 2前 4後		2 2 2 2 2							1 1 1 1	
	小計(28科目)			-	16	22	0	2	1	0	0	0	兼17
	専門 教育 科目	基幹科目	人間形成論 心理学概論 対人関係論 道徳教育論 教育学概論(幼・小) 教育学概論(中・高) 教育心理学(幼・小) 教育心理学(中・高) 教育行政学(幼・小) 教育行政学(中・高) 教職概論(幼・小) 教職概論(中・高)	1前 1前 1後 1後 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 1後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1			1 1 1 1
		展開科目	国語 社会 算数 理科 生活 音楽 図画工作 家庭 体育 外国語活動 初等教科教育法(国語)	2前 2後 2前 2後 2前 2前 2前 2後 2前 2前 3前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1			1 1 1 1 1 1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	初等教科教育法(社会)	3後		2								1
	初等教科教育法(算数)	3前		2		1						
	初等教科教育法(理科)	3前		2								1
	初等教科教育法(生活)	3前		2								1
	初等教科教育法(音楽)	3前		2		1						
	初等教科教育法(図画工作)	3前		2			1					
	初等教科教育法(家庭)	3後		2								1
	初等教科教育法(体育)	3前		2			1					
	教育課程論(幼・小)	2前		2								1
	道徳の指導法(小)	2後		2								1
	特別活動の指導法(小)	3後		2								1
	教育方法論(幼・小)	2後		2								1
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前		2								1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後		2			1					
	保育内容総論	2前		2								1
	保育内容(健康)	2後		2								1
	保育内容(人間関係)	2後		2								1
	保育内容(環境)	3前		2								1
	保育内容(言葉)	3前		2								1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前		2		1						
	保育内容(表現Ⅱ)	3後		2			1					
	幼児理解の理論と方法	2後		2								1
	保育原理	1後		2								1
	子どもの心理学Ⅰ	2前		2								2
	子どもの心理学Ⅱ	2後		1								2
	児童家庭福祉	2後		2		1						
	社会福祉	2後		2		1						
	相談援助	3前		1		1						
	社会的養護	2後		2		1						
	子どもの保健Ⅰ	3前		4								1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1								1
	子どもの食と栄養	3後		2								1
	家庭支援論	3前		2		1						
	乳児保育	3前		2								1
	障害児保育	3後		2								1
	社会的養護内容	3後		1		1						
	言語表現	2後		2								1
	体育実技Ⅰ	1後		1		1						1
	体育実技Ⅱ	2前		1								2
	体育実技Ⅲ	2前		1								2
	体育実技Ⅳ	2後		1								1
	体育実技Ⅴ	2後		1		1						
	体育実技Ⅵ	1後		1								1
	体育実技Ⅶ	2後		1			1	1				
	体育原理	1後		2								2
運動学・運動方法学	2後		2		1							
体育心理学	2前		2								1	
体育経営管理学	2後		2								1	
体育社会学	2前		2								1	
生理学・運動生理学	2前		2			1					1	
衛生学・公衆衛生学	3前		2		1							
学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	展開科目	学校安全(救急処置を含む)	3後	2		1						
	中等教科教育法Ⅰ(体育)	3前	2		1							
	中等教科教育法Ⅱ(体育)	3後	2		1							
	中等教科教育法Ⅲ(保健)	3前	2								1	
	中等教科教育法Ⅳ(保健)	3後	2								1	
	教育課程論(中・高)	2前	2			1						
	道徳の指導法(中)	2後	2			1						
	特別活動の指導法(中・高)	3前	2								1	
	教育方法論(中・高)	2前	2								1	
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後	2								1	
	教育相談の理論と方法(中・高)	3後	2								1	
	体力測定・評価法	2後	2				1					
	運動部活動の指導法(未開講)	3後	2			1	1					
	コーチング論	2前	2			1						
	トレーニング論	3前	2				1					
	健康管理論	2前	2			1	1					
	健康教育論(未開講)	2後	2								1	
	バイオメカニクス	2後	2								1	
	発展科目	発達心理学	2後	2								1
	学校心理学	3後	2			1						
	カウンセリング論	3前	2				1					
	学校・学級経営	3前	2			1						
	チーム学校論	4後	2								1	
	発達障害	2後	2								1	
	特別支援教育	3前	2								1	
	授業観察演習	3後	1			2	1	1			1	
	授業実践演習	3後	1			2	1	1			1	
	関連科目	行動科学概論	2前	2			1					
	心理統計法	2前	2									1
	心理学基礎実験	2後	2									1
	心理学実験演習	3後	2									1
	社会心理学	2後	2									1
	コミュニケーション心理学	4後	2			1						
	臨床心理学	2後	2				1					
	発達臨床心理学	3前	2				1					
	心理療法概論	3前	2				1					
	心理検査法	4後	2				1					
	発育・発達論	2前	2									1
	医学・スポーツ医学	2前	2									1
	解剖学・機能解剖学	3後	2									1
	栄養学・スポーツ栄養学	3後	2									1
	健康づくりの理論と方法	2後	2			1		1				
心の健康と行動(未開講)	3後	2									1	
スポーツ指導法	2後	2			1							
運動プログラム管理	3後	2				1						
生活習慣病と身体運動	3後	2									1	
健康運動特講Ⅰ	3前	2									1	
健康運動特講Ⅱ	3後	2									2	
健康運動実践指導Ⅰ	3前	2									1	
健康運動実践指導Ⅱ	3後	2									1	
生涯スポーツⅠ	3前	1									1	
生涯スポーツⅡ	3後	1									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連科目	生涯スポーツⅢ	4前	1								1	
	地域スポーツ指導Ⅰ	4前	2				1	1					
	地域スポーツ指導Ⅱ	4後	2				1	1					
	実習科目	初等教職体験実習	1前	1			1						1
		幼児教職体験実習	1前	1			1		1				
		中等教職体験実習	1前	1			1		1				
		健康体験実習	1前	1				1	1				
		初等教育実習 事前事後指導	4前	1			1	1					
		初等教育実習	4前	4			1	1					
		幼児教育実習 事前事後指導	4前	1					1				1
		幼児教育実習	4前	4					1				1
		保育実習指導Ⅰ	3後	2			2		1				
		保育実習Ⅰ	3後	4			2		1				
		保育実習指導Ⅱ	4前	1			2		1				
		保育実習Ⅱ	4前	2			2		1				
		中等教育実習 事前事後指導	4前	1			1		1				
		中等教育実習Ⅰ	4前	2			1		1				
		中等教育実習Ⅱ	4前	2			1		1				
		保育・教職 実践演習(幼)	4後	2			2		1				
		教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習 (中・高)	4後	2			1		1					
	健康実践演習	4前	1			1	1						
	研究 科目	教育学研究法	4前	2			11	4					
		卒業研究	4後	2			11	4					
	小計(151科目)		-	12	273	0	11	4	3	0	0	0	兼45
	合計(179科目)		-	28	295	0	11	4	3	0	0	0	兼57
	卒業要件及び履修方法												
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

教職課程認定の関係で、「児童・進路指導の理論と方法(小)」の「兼任・兼任1」の担当者を変更した。

【令和元年度】

健康上の理由により、「情報処理法」の専任教員の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更した。
 教員の退職により、「社会と憲法」「法律と人権」の「兼任・兼任1」の担当者を変更した。
 健康上の理由により、「体育実技Ⅲ」の「兼任・兼任2」のうち1名の担当者を変更した。

【令和2年度】

教育内容の充実を図るため、「生活習慣病と身体運動」「健康運動特講Ⅰ」「健康運動特講Ⅱ」の科目を追加し、「兼任・兼任」を追加した。
 教員の退職により、「教育課程論(幼・小)」「教育方法論(幼・小)」「教育方法論(中・高)」「授業観察演習」「授業実践演習」「初等教職体験実習」の専任教員(講師)を「兼任・兼任」に変更した。
 健康上の理由により、「保育内容総論」「保育内容(言葉)」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。
 教員の都合により、「初等教科教育法(理科)」「教育相談の理論と方法(中・高)」の配当年次(前期・後期)を変更した。
 教員の都合により、「学校保健(小児保健・精神保健を含む)」「健康教育論」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。
 教員の都合により、「心の健康と行動」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。

【令和3年度】

附帯事項(完成年度後の教員組織編制)を考え、准教授2名を教授に昇格、講師1名を准教授に昇格した。(AC教員審査で認可済み)
 ・「教育心理学(幼・小)」「教育相談の理論と方法(幼・小)」「カウンセリング論」「臨床心理学」「心理療法概論」「発達臨床心理学」「卒業研究」の准教授を教授に変更した。
 ・「健康と運動」「体育実技Ⅶ」「生理学・運動生理学」「体力測定・評価法」「運動部活動の指導法」「トレーニング論」「健康管理論」「運動プログラム管理」「地域スポーツ指導Ⅰ」「地域スポーツ指導Ⅱ」「健康体験実習」「健康実践演習」「教育学研究法」「卒業研究」の准教授を教授に変更した。
 ・「授業観察演習」「授業実践演習」「幼児教職体験実習」「幼児教育実習事前事後指導」「幼児教育実習」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」「保育・教職実践演習(幼)」の講師を准教授に変更した。また、「教育学研究法」「卒業研究」の准教授を1名追加した。
 退職者の後任が決まり、「教育課程論(幼・小)」「教育方法論(幼・小)」「教育方法論(中・高)」「授業観察演習」「授業実践演習」「初等教職体験実習」の兼任・兼任を専任教員(講師)に変更した。(AC教員審査で認可済み)
 教員の退職により、「児童家庭福祉」「家庭支援論」「幼児教職体験実習」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」「保育・教職実践演習(幼)」を教授から兼任・兼任に変更した。また、「教育学研究法」「卒業研究」の教授を1名減らした。
 教員の都合により、「社会的・職業的自立Ⅰ」「社会的・職業的自立Ⅱ」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	154 科目	0 科目	176 科目	22 科目 []	157 科目 []	0 科目 []	179 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{176} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	育英短期大学 (必要面積 6,800㎡)と共有		
	校舎敷地	0 ㎡	13,990.39 ㎡	0 ㎡	13,990.39 ㎡			
	運動場用地	0 ㎡	15,171.18 ㎡	0 ㎡	15,171.18 ㎡			
	小 計	0 ㎡	29,161.57 ㎡	0 ㎡	29,161.57 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	19,206.41 ㎡	0 ㎡	19,206.41 ㎡			
	合 計	0 ㎡	48,367.98 ㎡	0 ㎡	48,367.98 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	育英短期大学 (必要面積 5,800㎡)と共有			
	1,587.70 ㎡ (1,587.70 ㎡)	8,234.15 ㎡ (8,234.15 ㎡)	936.72 ㎡ (936.72 ㎡)	10,758.57 ㎡ (10,758.57 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	16室	37室	4室	2室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	教育学部 教育学科		24 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	育英短期大学と 共用分を含む 56,322 56,485 56,463 55,794 図書 53,227冊 〔 3,955 〕 〔 3,040 〕 〔 3,984 〕 〔 3,957 〕 〔 3,941冊 〕 5,505 5,204 学術雑誌 5,073 5,045種 〔 5,474 〕 〔 5,173 〕 〔 5,041 〕 〔 5,013種 〕 図書は育英短期大学の経 常経費で購入した図書を 追加 (30) 育英大学・育英短期大学 の経常経費で購入した図 書を追加 (元)
	教育学部 教育学科	60,000 [4,200]	5,545 [5,485]	5,479 [5,478]	24	2,074	0	
		60,021 [4,178]	5,244 [5,184]	5,178 [5,177]	21			
		59,280 [4,178]	5,115 [5,052]	5,046 [5,045]	18			
		55,687 [4,061]	5,087 [5,024]	5,016 [5,015]	10			
		(59,944 [4,151])	(5,545 [5,485])	(5,479 [5,478])	(24)			
		(60,021 [4,178])	(5,244 [5,184])	(5,178 [5,177])	(21)			
		(59,280 [4,178])	(5,115 [5,052])	(5,046 [5,045])	(18)			
		(55,687 [5,061])	(5,087 [5,024])	(5,016 [5,015])	(10)			
	計	60,000 [4,200]	5,545 [5,485]	5,479 [5,478]	24	2,074	0	
	60,021 [4,178]	5,244 [5,184]	5,178 [5,177]	21				
	59,280 [4,178]	5,115 [5,052]	5,046 [5,045]	18				
	55,687 [4,061]	5,087 [5,024]	5,016 [5,015]	10	2,074	0		
	(59,944 [4,151])	(5,545 [5,485])	(5,479 [5,478])	(24)				
	(60,021 [4,178])	(5,244 [5,184])	(5,178 [5,177])	(21)				
	(59,280 [4,178])	(5,115 [5,052])	(5,046 [5,045])	(18)	(2,074)			
	(55,687 [5,061])	(5,087 [5,024])	(5,016 [5,015])	(10)	(1,276)	(0)		

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
	576.45㎡		110席		60,000冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	2825.97㎡ 2163.05㎡		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,000千円	4,500千円	2,000千円
		共同研究費等	1,000千円	1,500千円	設備購入費	65,031千円	37,469千円	1,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,300千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	育英大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	該当なし	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
教育学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学科	4	100	-	400	学士(教育学)	0.99	1.11	-	平成30	群馬県高崎市京目町1656-1	
児童教育専攻	4	50	-	200	学士(教育学)	0.95	1.06	-	平成30	同上	
スポーツ教育専攻	4	50	-	200	学士(教育学)	1.04	1.16	-	平成30	同上	
大学全体	4	100	-	400	-	0.99	1.11	-	-	-	
大学の名称	育英短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	該当なし	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
保育学科	2	240	-	480	短期大学士(保育学)	0.85	0.90	-	昭和52	群馬県高崎市京目町1656-1	
現代コミュニケーション学科	2	100	-	200	短期大学士(コミュニケーション学)	0.81	0.80	-	平成14	同上	
大学全体	2	340	-	680	-	0.83	0.85	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
専	教授	新井 保幸 <平成30年4月> 教育学修士	人間形成論 教育学概論(幼・小) 教育学概論(中・高) 教職概論(幼・小)※ 教職概論(中・高) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	新井 保幸 <平成30年4月> 教育学修士	人間形成論 教育学概論(幼・小) 教育学概論(中・高) 教職概論(幼・小)※ 教職概論(中・高) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	新井 保幸 <平成30年4月> 教育学修士	人間形成論 教育学概論(幼・小) 教育学概論(中・高) 教職概論(幼・小)※ 教職概論(中・高) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	新井 保幸 <平成30年4月> 教育学修士	人間形成論 教育学概論(幼・小) 教育学概論(中・高) 教職概論(幼・小)※ 教職概論(中・高) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	本村 清人 <平成30年4月> 体育学士	体育実技V 中等教科教育法I(体育) 中等教科教育法II(体育) 教育課程論(中・高) 運動部活動の指導法 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習I 中等教育実習II 教職実践演習(中・高) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	本村 清人 <平成30年4月> 体育学士	体育実技V 中等教科教育法I(体育) 中等教科教育法II(体育) 教育課程論(中・高) 運動部活動の指導法 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習I 中等教育実習II 教職実践演習(中・高) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	本村 清人 <平成30年4月> 体育学士	体育実技V 中等教科教育法I(体育) 中等教科教育法II(体育) 教育課程論(中・高) 運動部活動の指導法 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習I 中等教育実習II 教職実践演習(中・高) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	本村 清人 <平成30年4月> 体育学士	体育実技V 中等教科教育法I(体育) 中等教科教育法II(体育) 教育課程論(中・高) 運動部活動の指導法 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習I 中等教育実習II 教職実践演習(中・高) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	朝岡 正雄 <平成30年4月> 博士(体育科学)	体育実技I※ 運動学・運動方法学 コーチング論 スポーツ指導法 教育学研究法 卒業研究	専	教授	朝岡 正雄 <平成30年4月> 博士(体育科学)	体育実技I※ 運動学・運動方法学 コーチング論 スポーツ指導法 教育学研究法 卒業研究	専	教授	朝岡 正雄 <平成30年4月> 博士(体育科学)	体育実技I※ 運動学・運動方法学 コーチング論 スポーツ指導法 教育学研究法 卒業研究	専	教授	朝岡 正雄 <平成30年4月> 博士(体育科学)	体育実技I※ 運動学・運動方法学 コーチング論 スポーツ指導法 教育学研究法 卒業研究
専	教授	小野澤 昇 <平成31年4月> 教育学士	社会福祉 相談援助 社会的養護 社会的養護内容 授業観察演習 授業実践演習 保育実習指導I 保育実習I 保育実習指導II 保育実習II 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	小野澤 昇 <平成31年4月> 教育学士	社会福祉 相談援助 社会的養護 社会的養護内容 授業観察演習 授業実践演習 保育実習指導I 保育実習I 保育実習指導II 保育実習II 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	小野澤 昇 <平成31年4月> 教育学士	社会福祉 相談援助 社会的養護 社会的養護内容 授業観察演習 授業実践演習 保育実習指導I 保育実習I 保育実習指導II 保育実習II 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	小野澤 昇 <平成31年4月> 教育学士	社会福祉 相談援助 社会的養護 社会的養護内容 授業観察演習 授業実践演習 保育実習指導I 保育実習I 保育実習指導II 保育実習II 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	蘭 千壽 <平成30年4月> 教育学博士	心理学概論 対人関係論 教育心理学(中・高) 学校心理学 学校・学級経営 行動科学概論 コミュニケーション心理学 教育学研究法 卒業研究	専	教授	蘭 千壽 <平成30年4月> 教育学博士	心理学概論 対人関係論 教育心理学(中・高) 学校心理学 学校・学級経営 行動科学概論 コミュニケーション心理学 教育学研究法 卒業研究	専	教授	蘭 千壽 <平成30年4月> 教育学博士	心理学概論 対人関係論 教育心理学(中・高) 学校心理学 学校・学級経営 行動科学概論 コミュニケーション心理学 教育学研究法 卒業研究	専	教授	蘭 千壽 <平成30年4月> 教育学博士	心理学概論 対人関係論 教育心理学(中・高) 学校心理学 学校・学級経営 行動科学概論 コミュニケーション心理学 教育学研究法 卒業研究
専	教授	西谷 泉 <平成30年4月> 教育学修士	情報処理法 情報活用法 算数 初等教科教育法(算数) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	西谷 泉 <平成30年4月> 教育学修士	情報処理法 情報活用法 算数 初等教科教育法(算数) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	西谷 泉 <平成30年4月> 教育学修士	情報処理法 情報活用法 算数 初等教科教育法(算数) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	西谷 泉 <平成30年4月> 教育学修士	情報処理法 情報活用法 算数 初等教科教育法(算数) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	熊木 眞見子 <平成30年4月> 芸術学士	音楽 初等教科教育法(音楽) 保育内容(表現I) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	熊木 眞見子 <平成30年4月> 芸術学士	音楽 初等教科教育法(音楽) 保育内容(表現I) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	熊木 眞見子 <平成30年4月> 芸術学士	音楽 初等教科教育法(音楽) 保育内容(表現I) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	熊木 眞見子 <平成30年4月> 芸術学士	音楽 初等教科教育法(音楽) 保育内容(表現I) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	中島 弘道 <平成30年4月> 修士(学術)	国語 初等教科教育法(国語) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	中島 弘道 <平成30年4月> 修士(学術)	国語 初等教科教育法(国語) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	中島 弘道 <平成30年4月> 修士(学術)	国語 初等教科教育法(国語) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	中島 弘道 <平成30年4月> 修士(学術)	国語 初等教科教育法(国語) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
専	教授	大塚 良一 <平成30年4月> 修士(社会学)※	児童家庭福祉 家庭支援論 幼児教職体験実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	大塚 良一 <平成30年4月> 修士(社会学)※	児童家庭福祉 家庭支援論 幼児教職体験実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	大塚 良一 <平成30年4月> 修士(社会学)※	児童家庭福祉 家庭支援論 幼児教職体験実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	大塚 良一 <平成30年4月> 修士(社会学)※	児童家庭福祉 家庭支援論 幼児教職体験実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	鎌水 浩 <平成30年4月> 博士(学術)	自己管理と社会規範 他者理解と信頼関係 道徳教育論 道徳の指導法(中) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	鎌水 浩 <平成30年4月> 博士(学術)	自己管理と社会規範 他者理解と信頼関係 道徳教育論 道徳の指導法(中) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	鎌水 浩 <平成30年4月> 博士(学術)	自己管理と社会規範 他者理解と信頼関係 道徳教育論 道徳の指導法(中) 教育学研究法 卒業研究	専	教授	鎌水 浩 <平成30年4月> 博士(学術)	自己管理と社会規範 他者理解と信頼関係 道徳教育論 道徳の指導法(中) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	奈良 誠人 <平成31年4月> 博士(医学)	衛生学・公衆衛生学 学校安全(救急処置を含む) 健康管理論※ 健康づくりの理論と方法※ 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究	専	教授	奈良 誠人 <平成31年4月> 博士(医学)	衛生学・公衆衛生学 学校安全(救急処置を含む) 健康管理論※ 健康づくりの理論と方法※ 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究	専	教授	奈良 誠人 <平成31年4月> 博士(医学)	衛生学・公衆衛生学 学校安全(救急処置を含む) 健康管理論※ 健康づくりの理論と方法※ 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究	専	教授	奈良 誠人 <平成31年4月> 博士(医学)	衛生学・公衆衛生学 学校安全(救急処置を含む) 健康管理論※ 健康づくりの理論と方法※ 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究
専	准教授	星野 真由美 <平成30年4月> 修士(心理学)※	教育心理学(幼・小) 教育相談の理論と方法(幼・小) カウンセリング論 臨床心理学 心理療法概論 発達臨床心理学 心理検査法 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	星野 真由美 <平成30年4月> 修士(心理学)※	教育心理学(幼・小) 教育相談の理論と方法(幼・小) カウンセリング論 臨床心理学 心理療法概論 発達臨床心理学 心理検査法 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	星野 真由美 <平成30年4月> 修士(心理学)※	教育心理学(幼・小) 教育相談の理論と方法(幼・小) カウンセリング論 臨床心理学 心理療法概論 発達臨床心理学 心理検査法 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	星野 真由美 <平成30年4月> 修士(心理学)※	教育心理学(幼・小) 教育相談の理論と方法(幼・小) カウンセリング論 臨床心理学 心理療法概論 発達臨床心理学 心理検査法 教育学研究法 卒業研究
専	准教授	柳川 美塵 <平成30年4月> 博士(医学)	健康と運動 体育実技Ⅶ 生理学・運動生理学※ 体力測定・評価法 運動部活動の指導法 トレーニング論 健康管理論※ 運動プログラム管理 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	柳川 美塵 <平成30年4月> 博士(医学)	健康と運動 体育実技Ⅶ 生理学・運動生理学※ 体力測定・評価法 運動部活動の指導法 トレーニング論 健康管理論※ 運動プログラム管理 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	柳川 美塵 <平成30年4月> 博士(医学)	健康と運動 体育実技Ⅶ 生理学・運動生理学※ 体力測定・評価法 運動部活動の指導法 トレーニング論 健康管理論※ 運動プログラム管理 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	柳川 美塵 <平成30年4月> 博士(医学)	健康と運動 体育実技Ⅶ 生理学・運動生理学※ 体力測定・評価法 運動部活動の指導法 トレーニング論 健康管理論※ 運動プログラム管理 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習 健康実践演習 教育学研究法 卒業研究
専	准教授	吉井 健人 <平成31年4月> 修士(教育学)	初等教科教育法(体育) 授業観察演習 授業実践演習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	吉井 健人 <平成31年4月> 修士(教育学)	初等教科教育法(体育) 授業観察演習 授業実践演習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	吉井 健人 <平成31年4月> 修士(教育学)	初等教科教育法(体育) 授業観察演習 授業実践演習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	吉井 健人 <平成31年4月> 修士(教育学)	初等教科教育法(体育) 授業観察演習 授業実践演習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究
専	准教授	渡辺 一洋 <平成31年4月> 博士(学校教育学)	図画工作 初等教科教育法(図画工作) 保育内容(表現Ⅱ) 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	渡辺 一洋 <平成31年4月> 博士(学校教育学)	図画工作 初等教科教育法(図画工作) 保育内容(表現Ⅱ) 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	渡辺 一洋 <平成31年4月> 博士(学校教育学)	図画工作 初等教科教育法(図画工作) 保育内容(表現Ⅱ) 教育学研究法 卒業研究	専	准教授	渡辺 一洋 <平成31年4月> 博士(学校教育学)	図画工作 初等教科教育法(図画工作) 保育内容(表現Ⅱ) 教育学研究法 卒業研究
専	講師	簗輪 欣房 <平成30年4月> 修士(学術)	教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習	専	講師	簗輪 欣房 <平成30年4月> 修士(学術)	教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習	専	講師	簗輪 欣房 <平成30年4月> 修士(学術)	教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習	専	講師	簗輪 欣房 <平成30年4月> 修士(学術)	教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習
専	講師	望月 文代 <平成30年4月> 修士(児童学)	授業観察演習 授業実践演習 幼児教職体験実習 幼児教育実習事前事後指導 幼児教育実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼)	専	講師	望月 文代 <平成30年4月> 修士(児童学)	授業観察演習 授業実践演習 幼児教職体験実習 幼児教育実習事前事後指導 幼児教育実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼)	専	講師	望月 文代 <平成30年4月> 修士(児童学)	授業観察演習 授業実践演習 幼児教職体験実習 幼児教育実習事前事後指導 幼児教育実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼)	専	講師	望月 文代 <平成30年4月> 修士(児童学)	授業観察演習 授業実践演習 幼児教職体験実習 幼児教育実習事前事後指導 幼児教育実習 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼)
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	竹内 一夫 <平成31年4月> 医学博士	学校保健(小児保健・精神保健を含む) 健康教育論
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	鬼澤 陽子 <平成31年4月> 博士(体育科学)	体育実技Ⅲ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	竹内 一夫 <平成31年4月> 医学博士	学校保健(小児保健・精神保健を含む) 健康教育論
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	鬼澤 陽子 <平成31年4月> 博士(体育科学)	体育実技Ⅲ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	竹内 一夫 <平成31年4月> 医学博士	学校保健(小児保健・精神保健を含む) 健康教育論
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	鬼澤 陽子 <平成31年4月> 博士(体育科学)	体育実技Ⅲ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養 健康運動特講Ⅱ※
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養 健康運動特講Ⅱ※
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)			村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)			村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)			村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)
					社会と憲法 法律と人権			社会と憲法 法律と人権			社会と憲法 法律と人権			社会と憲法 法律と人権
			兼任	講師	永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)			永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)			永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)			永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)
					体育実技Ⅲ※			体育実技Ⅲ※			体育実技Ⅲ※			体育実技Ⅲ※
			兼任	講師	榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)			榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)			榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)			榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)
					教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習			教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習			教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習			教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習
			兼任	講師	石河 信雅 <令和2年4月> 法学士			石河 信雅 <令和2年4月> 法学士			石河 信雅 <令和2年4月> 法学士			石河 信雅 <令和2年4月> 法学士
					保育内容総論			保育内容総論			保育内容総論			保育内容総論
			兼任	講師	仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)			仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)			仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)			仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)
					保育内容(言葉)			保育内容(言葉)			保育内容(言葉)			保育内容(言葉)
			兼任	講師	松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)			松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)			松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)			松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)
					生活習慣病と身体運動			生活習慣病と身体運動			生活習慣病と身体運動			生活習慣病と身体運動
			兼任	講師	鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士			鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士			鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士			鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士
					健康運動特講Ⅰ			健康運動特講Ⅰ			健康運動特講Ⅰ			健康運動特講Ⅰ
			兼任	講師	松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)			松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)			松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)			松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)
					社会的・職業的自立Ⅰ			社会的・職業的自立Ⅰ			社会的・職業的自立Ⅰ			社会的・職業的自立Ⅰ
			兼任	講師	手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)			手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)			手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)			手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)
					社会的・職業的自立Ⅱ			社会的・職業的自立Ⅱ			社会的・職業的自立Ⅱ			社会的・職業的自立Ⅱ

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・教職課程認定の関係で、角野善司兼任講師を吉田浩之兼任講師に変更した。

【令和元年度】

・健康上の理由により、西谷泉専任教員の「情報処理法」を福室秀一兼任講師に変更した。
・教員の都合により、金光寛之兼任講師を村越芳美兼任講師に変更した。
・健康上の理由により、鬼澤陽子兼任講師を永井真紀兼任講師に変更した。

【令和2年度】

・蓑輪欣房講師退職。現在公募しており後任未定であるが、専任教員を採用予定。後任選定後AC教員審査が通るまで、同教員が兼任で担当する。
・健康上の理由により、柳晋兼任講師の「保育内容総論」を石河信雅兼任講師、「保育内容（言葉）」を仲本美央兼任講師に変更した。
・教員の都合により、竹内一夫兼任講師を高橋克典兼任講師に変更（科目追加）した。
・教員の都合により、宮崎博子兼任講師を高橋克典兼任講師に変更（科目追加）した。
・新規科目追加により、大塚恵美子兼任講師、高橋克典兼任講師の科目を追加した。
・新規科目追加により、松本隆太郎兼任講師、鯉淵典之兼任講師を新たに追加した。

【令和3年度】

・大塚良一教授が退職したため、専任教員を採用予定。後任選定までは、非常勤講師（佐藤達全兼任講師、柳晋兼任講師、吉野真弓兼任講師）が対応する。複数人で担当している科目は、同科目を担当している別の教員が対応する。
・附帯事項等（完成年度前の適切な教員組織の編制）に基づき、星野真由美准教授を教授に昇格。（令和3年2月AC教員審査済み。一部保留科目があるため、現在再審査中。）
・附帯事項等（完成年度前の適切な教員組織の編制）に基づき、柳川美磨准教授を教授に昇格。（令和3年2月AC教員審査済み）
・附帯事項等（完成年度前の適切な教員組織の編制）に基づき、望月文代講師を准教授に昇格。（令和3年2月AC教員審査済み）
・蓑輪欣房講師の退職により、田中怜講師に変更。（令和2年11月AC教員審査済み）左記に伴い、蓑輪欣房兼任講師辞任。
・教員の都合により、藤島喜代仁兼任講師を松尾智晶兼任講師、手塚貴子兼任講師に変更した。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
17 名	9 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
11	4	4	0	19	0	12	3	3	0	18	0
(9)	(2)	(4)	(0)	(15)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	3	3	0	18	0	10	4	5	0	19	0
[1]	[Δ1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[Δ1]	[]	[1]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	8 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{19} = \boxed{94.73} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{8}{18} = \boxed{44.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	蓑輪 欣房	H30.4	選択	教育課程論（幼・小）	①	R2.3.31付け本人の都合のため辞任（2）
				選択	教育方法論（幼・小）	①	
				選択	教育方法論（中・高）	①	
				選択	授業観察演習	①	
				選択	教育実践演習	①	
				選択	初等教科教育法	①	
2	教授	大塚 良一	H30.4	選択	児童家庭福祉	②	R3.3.31付け本人の都合のため辞任（3）
				選択	家庭支援論	②	
				選択	幼児教職体験実習	②	
				選択	保育実習指導Ⅰ	②	
				選択	保育実習Ⅰ	②	
				選択	保育実習指導Ⅱ	②	
				選択	保育実習Ⅱ	②	
				選択	保育・教職実践演習（幼）	②	
				必修	教育学研究法	①	
				必修	卒業研究	①	
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	6	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	6	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{19} = 10.52\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>後任人事に関しては、公募をして募集を募る。後任が決まるまでは、兼任講師をあ充てて対応する。また、必修科目2科目については、複数人で担当する科目のため、同科目を担当している別の教員が担当する。 専任教員の辞任の連絡は、オリエンテーションで周知する。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項 設置計画を確実に履行するため、「大学運営会議」を設置し、設置の趣旨・目的等を履行してきた。また、「FD・SD専門委員会」を設置し、教育研究活動の水準向上に努めてきた。	履行済 今後も引き続きFD・SD研修を行い、教育研究活動の水準を向上させる研修を実施していく。
認 可 時 (平成29年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 「大学運営会議」で、教員組織の将来構想について検討し、准教授を教授に、講師を准教授に昇格（AC教員審査済み）させた。	履行中 完成年度後の後任人事については、育英短期大学からの異動や公募による教員組織編製を検討している。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・入学定員未充足の改善に努めること。	指摘事項 (改善) 平成30年度、令和元年度入学生は、編入学制度を設け、定員未充足分を補填した。また、令和2年度、令和3年度は、定員を超える入学生が入学し、収容定員は平均して100%に近い数値になった。	履行済 今後も高校訪問やオープンキャンパスで大学の魅力を伝え、大学のPRを行い、定員充足を維持するよう努める。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編製に努めること。	指摘事項 (改善) 「大学運営会議」で、教員組織の将来構想について検討し、准教授を教授に、講師を准教授に昇格（AC教員審査済み）させた。	履行中 完成年度後の後任人事については、育英短期大学からの異動や公募による教員組織編製を検討している。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①編入学入試 実施しない</p>	<p>①編入学入試 定員未充足分として、2年次編入学入試を実施し、平成31年4月に2名の学生が入学した。(元)</p> <p>定員未充足分として、2・3年次編入学入試を実施し、令和2年4月に2年次編入が2名、3年次編入が3名入学した。(2)</p> <p>定員未充足分として、3年次編入学入試を実施し、令和3年4月に3年次編入が4名入学した。(3)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 総務企画委員会の下にFD・SD専門委員会を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 年に2回実施(委員会構成は教員8名、事務3名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>①教育内容及び方法の改善を図る取組の計画及び実施に関すること。 ②教育研究活動の活性化を図る取組の計画及び実施に関すること。 ③学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関すること。 ④大学運営に必要な能力及び資質の向上を図る取組の計画及び実施に関すること。 ⑤その他教職員の研修及び実施に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) FD・SD研修を実施</p> <p>①授業(成績評価)への統計の活用 ②教学マネジメントと職員のこれからの働き方ーコロナ危機を大学改革に繋げる視点から ③障害学生支援理解・啓発セミナー</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1) FD・SD研修を3回実施</p> <p>上記①については内部講師により講義形式で実施した。 上記②については外部講師によるリモート講演で実施した。(他大学と共同開催) 上記③についてはJASSOのネット研修で実施した。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（1）FD・SD研修

- ①授業（成績評価）への統計の活用（教員を対象に実施。教員参加率89.5%）
- ②教学マネジメントと職員のこれからの働き方—コロナ危機を大学改革に繋げる視点から（教職員を対象に実施。教員参加率94.7%）
- ③障害学生支援理解・啓発セミナー（教職員を対象に実施。教員参加率73.7%）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業担当者は、アンケート集計結果について科目ごとにアンケート結果についての自己評価を行い今後の改善への取り組みについて、報告書を委員長に提出する。

さらに、アンケート中の「授業内容・方法」に関する5つの設問において、平均が3.0未満(5段階評価)となった場合、当該項目の原因等の自己分析を行い、今後の改善への取り組みについて、報告書を委員長に提出する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

a 実施の有無及び実施時期

実施時期は、前期（7、8月）・後期（2、3月）で実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

科目毎のアンケート結果は、アンケート終了から約1ヵ月後に各科目担当教員に返却した。

アンケート結果を踏まえ、教員毎に授業に関する自己点検・自己評価を行い、報告書を提出し、その後の授業改善に活用した。

その他、集計結果を大学ホームページで公表する予定。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 総務企画委員会の下に自己点検・評価専門委員会を設置した。 構成員は、各専攻長、選出された教員、事務局長、各課長からなり、全学的に取り組むこととしている。 主な点検・評価内容としては、建学の精神と大学・学部の目的、教育課程や授業方法、教学マネジメント、学生支援、管理運営、地域貢献等を予定している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 令和3年3月</p> <p>b 公表方法 大学ホームページ上に公開する予定。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 完成年度後に適切な認証評価機関による第三者評価を受けるべく、学内で検討中。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後<input checked="" type="radio"/>3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 [該当なし]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

7 その他全般的事項

(2) 教員の資質の維持向上の方策 ①実施体制 a 委員会設置状況の関係規程

育英大学FD・SD専門委員会内規

(目的)

第1条 この内規は、育英大学総務企画委員会規則第8条の規定に基づき、育英大学FD・SD専門委員会（以下「専門委員会」という。）に関して必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 専門委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育内容及び方法の改善を図る取組の計画及び実施に関すること。
- (2) 教育研究活動の活性化を図る取組の計画及び実施に関すること。
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関すること。
- (4) 大学運営に必要な能力及び資質の向上を図る取組の計画及び実施に関すること。
- (5) その他教職員の研修及び研究の実施に関すること。

(組織)

第3条 専門委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各専攻長
- (2) 各専攻から選出された教員 各1人
- (3) 事務局長
- (4) 事務局管理課長及び教務課長
- (5) その他学長が指名する者 若干人

(任期)

第4条 前条第2号及び第5号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 専門委員会に委員長を置き、学長が指名する者をもって充てる。

- 2 委員長は、専門委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が議長となる。

(会議)

第6条 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聞くことができる。

(事 務)

第8条 専門委員会の事務は、事務局管理課及び教務課において処理する。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この内規は、平成30年3月13日に制定し、平成30年4月1日から施行する。

大学番号 私立30

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 大学の設置
注1



育英大学 教育学部 教育学科 スポーツ教育専攻
注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人群馬育英学園
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	シュニン ニシムラ ヨシタカ 主任 西村 佳貴
電話番号	027-352-1981
（夜間）	090-7231-7801
e-mail	nishimura@ikuei-g.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

＜教育学科 スポーツ教育専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人群馬育英学園

(2) 大学名 育英大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒371-0011
群馬県高崎市京目町1656-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カムラ ヨシヒロ) 中村 義寛 (平成15年1月)		
学長	(イシイ マサフミ) 石井 學 (平成30年4月)		
学部長	(フジイ ヤスヒキ) 新井 保幸 (平成30年4月)		
学科長等	(フジイ ヤスヒキ) 新井 保幸 (平成30年4月)		学部長と兼務

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 スポーツ 教育専攻 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	年 4	人 50	年次 人 -	人 200		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 -	人 -	人 50	人 -	人 50	人 -	人 50	人 -	人 50	人 -	1.03倍	-	()は2 年次編入 (())は3 年次編入
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)			
入学定員超過率 B/A	-	-	0.68	-	1.06	-	1.26	-	1.16	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	52 [—] (—)	— [—] (—)	59 [—] (—)	— [—] (—)	58 [—] (—)	— [—] (—)	令和2年度に2年次編入1名入学 令和2年度に3年次編入1名入学
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	33 [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	59 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次	/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	
4年次	/		/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	
計	[—] (—)	[—] (—)	34 [—] (—)	[—] (—)	85 [—] (—)	[—] (—)	146 [—] (—)	[—] (—)	204 [—] (—)	[—] (—)	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	34 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	除籍(1人)
令和元年度	86 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和2年度	148 人	2 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	2 人	0 人	進路変更(2人)
令和3年度	204 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{34} = \boxed{2.94} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{86} = \boxed{1.16} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{148} = \boxed{1.35} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{204} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	図画工作	2前	2			1						
	家庭	2後	2								1	
	体育	2前	2					1				
	外国語活動	2前	2									1
	初等教科教育法(国語)	3前	2			1						
	初等教科教育法(社会)	3後	2									1
	初等教科教育法(算数)	3前	2			1						
	初等教科教育法(理科)	3後	2									1
	初等教科教育法(生活)	3前	2									1
	初等教科教育法(音楽)	3前	2			1						
	初等教科教育法(図画工作)	3前	2				1					
	初等教科教育法(家庭)	3後	2									1
	初等教科教育法(体育)	3前	2				1					
	教育課程論(幼・小)	2前	2					1				
	道徳の指導法(小)	2後	2									1
	特別活動の指導法(小)	3後	2									1
	教育方法論(幼・小)	2後	2					1				
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前	2									1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後	2				1					
	保育内容総論	2前	2									1
	保育内容(健康)	2後	2									1
	保育内容(人間関係)	2後	2									1
	保育内容(環境)	3前	2									1
	保育内容(言葉)	3前	2									1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前	2			1						
	保育内容(表現Ⅱ)	3後	2				1					
	幼児理解の理論と方法	2後	2									1
	保育原理	1後	2									1
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2									2
	子どもの心理学Ⅱ	2後	1									2
	児童家庭福祉	2後	2			1						
	社会福祉	2後	2			1						
	相談援助	3前	1			1						
	社会的養護	2後	2			1						
	子どもの保健Ⅰ	3前	4									1
	子どもの保健Ⅱ	3後	1									1
	子どもの食と栄養	3後	2									1
	家庭支援論	3前	2			1						
	乳児保育	3前	2									1
	障害児保育	3後	2									1
社会的養護内容	3後	1			1							
言語表現	2後	2									1	
体育実技Ⅰ	1後	1			1						1	
体育実技Ⅱ	2前	1									2	
体育実技Ⅲ	2前	1									2	
体育実技Ⅳ	2後	1									1	
体育実技Ⅴ	2後	1			1							
体育実技Ⅵ	1後	1									1	
体育実技Ⅶ	2後	1				1	1					
体育原理	1後	2									2	
運動学・運動方法学	2後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	図画工作	2前	2			1						
	家庭	2後	2									1
	体育	2前	2					1				
	外国語活動	2前	2									1
	初等教科教育法(国語)	3前	2			1						
	初等教科教育法(社会)	3後	2									1
	初等教科教育法(算数)	3前	2			1						
	初等教科教育法(理科)	3前	2									1
	初等教科教育法(生活)	3前	2									1
	初等教科教育法(音楽)	3前	2			1						
	初等教科教育法(図画工作)	3前	2				1					
	初等教科教育法(家庭)	3後	2									1
	初等教科教育法(体育)	3前	2				1					
	教育課程論(幼・小)	2前	2						1			
	道徳の指導法(小)	2後	2									1
	特別活動の指導法(小)	3後	2									1
	教育方法論(幼・小)	2後	2						1			
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前	2									1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後	2				1					
	保育内容総論	2前	2									1
	保育内容(健康)	2後	2									1
	保育内容(人間関係)	2後	2									1
	保育内容(環境)	3前	2									1
	保育内容(言葉)	3前	2									1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前	2			1						
	保育内容(表現Ⅱ)	3後	2				1					
	幼児理解の理論と方法	2後	2									1
	保育原理	1後	2									1
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2									2
	子どもの心理学Ⅱ	2後	1									2
	児童家庭福祉	2後	2			1						
	社会福祉	2後	2			1						
	相談援助	3前	1			1						
	社会的養護	2後	2			1						
	子どもの保健Ⅰ	3前	4									1
	子どもの保健Ⅱ	3後	1									1
	子どもの食と栄養	3後	2									1
	家庭支援論	3前	2			1						
	乳児保育	3前	2									1
	障害児保育	3後	2									1
社会的養護内容	3後	1			1							
言語表現	2後	2									1	
体育実技Ⅰ	1後	1			1						1	
体育実技Ⅱ	2前	1									2	
体育実技Ⅲ	2前	1									2	
体育実技Ⅳ	2後	1									1	
体育実技Ⅴ	2後	1			1							
体育実技Ⅵ	1後	1									1	
体育実技Ⅶ	2後	1				1	1					
体育原理	1後	2									2	
運動学・運動方法学	2後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	体育心理学	2前		2								1
	体育経営管理学	2後		2								1
	体育社会学	2前		2								1
	生理学・運動生理学	2前		2			1					1
	衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2								1
	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1						
	中等教科教育法I(体育)	3前		2		1						
	中等教科教育法II(体育)	3後		2		1						
	中等教科教育法III(保健)	3前		2								1
	中等教科教育法IV(保健)	3後		2								1
	教育課程論(中・高)	2前		2		1						
	道徳の指導法(中)	2後		2		1						
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1
	教育方法論(中・高)	2前		2				1				
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1
	教育相談の理論と方法(中・高)	3前		2								1
	体力測定・評価法	2後		2			1					
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1					
	コーチング論	2前		2		1						
トレーニング論	3前		2			1						
健康管理論	2前		2		1	1						
健康教育論	2後		2								1	
バイオメカニクス	2後		2								1	
発展科目	発達心理学	2後		2								1
	学校心理学	3後		2		1						
	カウンセリング論	3前		2			1					
	学校・学級経営	3前		2		1						
	チーム学校論	4後		2								1
	発達障害	2後		2								1
	特別支援教育	3前		2								1
	授業観察演習	3後		1		2	1	2				
	授業実践演習	3後		1		2	1	2				
関連科目	行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1
	心理学基礎実験	2後		2								1
	心理学実験演習	3後		2								1
	社会心理学	2後		2								1
	コミュニケーション心理学	4後		2		1						
	臨床心理学	2後		2			1					
	発達臨床心理学	3前		2			1					
	心理療法概論	3前		2			1					
	心理検査法	4後		2			1					
	発育・発達論	2前		2								1
	医学・スポーツ医学	2前		2								1
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1				
	心の健康と行動	3後		2								1
	スポーツ指導法	2後		2		1						
運動プログラム管理	3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	体育心理学	2前		2								1
	体育経営管理学	2後		2								1
	体育社会学	2前		2								1
	生理学・運動生理学	2前		2			1					1
	衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2								1
	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1						
	中等教科教育法I(体育)	3前		2		1						
	中等教科教育法II(体育)	3後		2		1						
	中等教科教育法III(保健)	3前		2								1
	中等教科教育法IV(保健)	3後		2								1
	教育課程論(中・高)	2前		2		1						
	道徳の指導法(中)	2後		2		1						
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1
	教育方法論(中・高)	2前		2				1				
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1
	教育相談の理論と方法(中・高)	3後		2								1
	体力測定・評価法	2後		2			1					
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1					
	コーチング論	2前		2		1						
トレーニング論	3前		2			1						
健康管理論	2前		2		1	1						
健康教育論	2後		2								1	
バイオメカニクス	2後		2								1	
発展科目	発達心理学	2後		2								1
	学校心理学	3後		2		1						
	カウンセリング論	3前		2			1					
	学校・学級経営	3前		2		1						
	チーム学校論	4後		2								1
	発達障害	2後		2								1
	特別支援教育	3前		2								1
	授業観察演習	3後		1		2	1	2				
	授業実践演習	3後		1		2	1	2				
関連科目	行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1
	心理学基礎実験	2後		2								1
	心理学実験演習	3後		2								1
	社会心理学	2後		2								1
	コミュニケーション心理学	4後		2		1						
	臨床心理学	2後		2			1					
	発達臨床心理学	3前		2			1					
	心理療法概論	3前		2			1					
	心理検査法	4後		2			1					
	発育・発達論	2前		2								1
	医学・スポーツ医学	2前		2								1
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1				
	心の健康と行動	3後		2								1
	スポーツ指導法	2後		2		1						
運動プログラム管理	3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連科目	健康運動実践指導Ⅰ	3前	2								1	
		健康運動実践指導Ⅱ	3後	2								1	
		生涯スポーツⅠ	3前	1								1	
		生涯スポーツⅡ	3後	1								1	
		生涯スポーツⅢ	4前	1								1	
		地域スポーツ指導Ⅰ	4前	2				1	1				
		地域スポーツ指導Ⅱ	4後	2				1	1				
	実習科目	初等教職体験実習	1前	1			1		1				
		幼児教職体験実習	1前	1			1		1				
		中等教職体験実習	1前	1			1		1				
		健康体験実習	1前	1				1	1				
		初等教育実習 事前事後指導	4前	1			1	1					
		初等教育実習	4前	4			1	1					
		幼児教育実習 事前事後指導	4前	1					1				1
		幼児教育実習	4前	4					1				1
		保育実習指導Ⅰ	3後	2			2		1				
		保育実習Ⅰ	3後	4			2		1				
		保育実習指導Ⅱ	4前	1			2		1				
		保育実習Ⅱ	4前	2			2		1				
		中等教育実習 事前事後指導	4前	1			1		1				
		中等教育実習Ⅰ	4前	2			1		1				
		中等教育実習Ⅱ	4前	2			1		1				
		保育・教職 実践演習(幼)	4後	2			2		1				
		教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習(中・高)	4後	2			1		1					
	健康実践演習	4前	1			1	1						
	科目研究	教育学研究法	4前	2			11	4					
		卒業研究	4後	2			11	4					
小計(148科目)		-	12	267	0	11	4	4	0	0	0	兼42	
合計(176科目)		-	28	289	0	11	4	4	0	0	0	兼54	
卒業要件及び履修方法													
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連科目	生活習慣病と身体運動	3後	2								1	
		健康運動特講Ⅰ	3前	2								1	
		健康運動特講Ⅱ	3後	2								2	
		健康運動実践指導Ⅰ	3前	2								1	
		健康運動実践指導Ⅱ	3後	2								1	
		生涯スポーツⅠ	3前	1								1	
		生涯スポーツⅡ	3後	1								1	
	生涯スポーツⅢ	4前	1								1		
	地域スポーツ指導Ⅰ	4前	2				1	1					
	地域スポーツ指導Ⅱ	4後	2				1	1					
	実習科目	初等教職体験実習	1前	1			1		1				
		幼児教職体験実習	1前	1					1				1
		中等教職体験実習	1前	1			1		1				
		健康体験実習	1前	1				1	1				
		初等教育実習 事前事後指導	4前	1			1	1					
		初等教育実習	4前	4			1	1					
		幼児教育実習 事前事後指導	4前	1					1				1
		幼児教育実習	4前	4					1				1
		保育実習指導Ⅰ	3後	2			2		1				1
		保育実習Ⅰ	3後	4			2		1				1
		保育実習指導Ⅱ	4前	1			2		1				1
		保育実習Ⅱ	4前	2			2		1				1
		中等教育実習 事前事後指導	4前	1			1		1				
		中等教育実習Ⅰ	4前	2			1		1				
		中等教育実習Ⅱ	4前	2			1		1				
		保育・教職 実践演習(幼)	4後	2			2		1				1
		教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習(中・高)	4後	2			1		1					
健康実践演習	4前	1			1	1							
科目研究	教育学研究法	4前	2			11	3						
	卒業研究	4後	2			12	3						
小計(151科目)		-	12	273	0	12	3	3	0	0	0	兼44	
合計(179科目)		-	28	295	0	12	3	3	0	0	0	兼57	
卒業要件及び履修方法													
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	初等教科教育法(社会)	3後		2							1
	初等教科教育法(算数)	3前		2		1					
	初等教科教育法(理科)	3後		2							1
	初等教科教育法(生活)	3前		2							1
	初等教科教育法(音楽)	3前		2		1					
	初等教科教育法(図画工作)	3前		2			1				
	初等教科教育法(家庭)	3後		2							1
	初等教科教育法(体育)	3前		2			1				
	教育課程論(幼・小)	2前		2				1			
	道徳の指導法(小)	2後		2							1
	特別活動の指導法(小)	3後		2							1
	教育方法論(幼・小)	2後		2				1			
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前		2							1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後		2			1				
	保育内容総論	2前		2							1
	保育内容(健康)	2後		2							1
	保育内容(人間関係)	2後		2							1
	保育内容(環境)	3前		2							1
	保育内容(言葉)	3前		2							1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前		2		1					
	保育内容(表現Ⅱ)	3後		2			1				
	幼児理解の理論と方法	2後		2							1
	保育原理	1後		2							1
	子どもの心理学Ⅰ	2前		2							2
	子どもの心理学Ⅱ	2後		1							2
	児童家庭福祉	2後		2		1					
	社会福祉	2後		2		1					
	相談援助	3前		1		1					
	社会的養護	2後		2		1					
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	家庭支援論	3前		2		1					
	乳児保育	3前		2							1
	障害児保育	3後		2							1
	社会的養護内容	3後		1		1					
	言語表現	2後		2							1
	体育実技Ⅰ	1後		1		1					1
	体育実技Ⅱ	2前		1							2
	体育実技Ⅲ	2前		1							2
体育実技Ⅳ	2後		1							1	
体育実技Ⅴ	2後		1		1						
体育実技Ⅵ	1後		1							1	
体育実技Ⅶ	2後		1			1	1				
体育原理	1後		2							2	
運動学・運動方法学	2後		2		1						
体育心理学	2前		2							1	
体育経営管理学	2後		2							1	
体育社会学	2前		2							1	
生理学・運動生理学	2前		2			1				1	
衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	初等教科教育法(社会)	3後		2							1
	初等教科教育法(算数)	3前		2		1					
	初等教科教育法(理科)	3後		2							1
	初等教科教育法(生活)	3前		2							1
	初等教科教育法(音楽)	3前		2		1					
	初等教科教育法(図画工作)	3前		2			1				
	初等教科教育法(家庭)	3後		2							1
	初等教科教育法(体育)	3前		2			1				
	教育課程論(幼・小)	2前		2				1			
	道徳の指導法(小)	2後		2							1
	特別活動の指導法(小)	3後		2							1
	教育方法論(幼・小)	2後		2				1			
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前		2							1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後		2			1				
	保育内容総論	2前		2							1
	保育内容(健康)	2後		2							1
	保育内容(人間関係)	2後		2							1
	保育内容(環境)	3前		2							1
	保育内容(言葉)	3前		2							1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前		2		1					
	保育内容(表現Ⅱ)	3後		2			1				
	幼児理解の理論と方法	2後		2							1
	保育原理	1後		2							1
	子どもの心理学Ⅰ	2前		2							2
	子どもの心理学Ⅱ	2後		1							2
	児童家庭福祉	2後		2		1					
	社会福祉	2後		2		1					
	相談援助	3前		1		1					
	社会的養護	2後		2		1					
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	家庭支援論	3前		2		1					
	乳児保育	3前		2							1
	障害児保育	3後		2							1
	社会的養護内容	3後		1		1					
	言語表現	2後		2							1
	体育実技Ⅰ	1後		1		1					1
	体育実技Ⅱ	2前		1							2
	体育実技Ⅲ	2前		1							2
体育実技Ⅳ	2後		1							1	
体育実技Ⅴ	2後		1		1						
体育実技Ⅵ	1後		1							1	
体育実技Ⅶ	2後		1			1	1				
体育原理	1後		2							2	
運動学・運動方法学	2後		2		1						
体育心理学	2前		2							1	
体育経営管理学	2後		2							1	
体育社会学	2前		2							1	
生理学・運動生理学	2前		2			1				1	
衛生学・公衆衛生学	3前		2		1						
学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
展開科目	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1							
	中等教科教育法I(体育)	3前		2		1							
	中等教科教育法II(体育)	3後		2		1							
	中等教科教育法III(保健)	3前		2							1		
	中等教科教育法IV(保健)	3後		2							1		
	教育課程論(中・高)	2前		2		1							
	道徳の指導法(中)	2後		2		1							
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1	
	教育方法論(中・高)	2前		2				1					
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1	
	教育相談の理論と方法(中・高)	3前		2								1	
	体力測定・評価法	2後		2			1						
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1						
	コーチング論	2前		2		1							
	トレーニング論	3前		2			1						
	健康管理論	2前		2		1	1						
	健康教育論	2後		2								1	
	バイオメカニクス	2後		2								1	
	専門教育科目	発達心理学	2後		2								1
		学校心理学	3後		2		1						
カウンセリング論		3前		2			1						
学校・学級経営		3前		2		1							
チーム学校論		4後		2								1	
発達障害		2後		2								1	
特別支援教育		3前		2								1	
授業観察演習		3後		1		2	1	2					
授業実践演習		3後		1		2	1	2					
関連科目		行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1	
	心理学基礎実験	2後		2								1	
	心理学実験演習	3後		2								1	
	社会心理学	2後		2								1	
	コミュニケーション心理学	4後		2		1							
	臨床心理学	2後		2			1						
	発達臨床心理学	3前		2			1						
	心理療法概論	3前		2			1						
	心理検査法	4後		2			1						
	発育・発達論	2前		2								1	
	医学・スポーツ医学	2前		2								1	
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1	
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1	
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1					
	心の健康と行動	3後		2								1	
	スポーツ指導法	2後		2		1							
	運動プログラム管理	3後		2			1						
	健康運動実践指導I	3前		2								1	
	健康運動実践指導II	3後		2								1	
生涯スポーツI	3前		1								1		
生涯スポーツII	3後		1								1		
生涯スポーツIII	4前		1								1		
地域スポーツ指導I	4前		2			1	1						
地域スポーツ指導II	4後		2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
展開科目	学校安全(救急処置を含む)	3後		2		1							
	中等教科教育法I(体育)	3前		2		1							
	中等教科教育法II(体育)	3後		2		1							
	中等教科教育法III(保健)	3前		2								1	
	中等教科教育法IV(保健)	3後		2								1	
	教育課程論(中・高)	2前		2		1							
	道徳の指導法(中)	2後		2		1							
	特別活動の指導法(中・高)	3前		2								1	
	教育方法論(中・高)	2前		2				1					
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後		2								1	
	教育相談の理論と方法(中・高)	3前		2								1	
	体力測定・評価法	2後		2			1						
	運動部活動の指導法	3後		2		1	1						
	コーチング論	2前		2		1							
	トレーニング論	3前		2			1						
	健康管理論	2前		2		1	1						
	健康教育論(未開講)	2後		2								1	
	バイオメカニクス	2後		2								1	
	専門教育科目	発達心理学	2後		2								1
		学校心理学	3後		2		1						
カウンセリング論		3前		2			1						
学校・学級経営		3前		2		1							
チーム学校論		4後		2								1	
発達障害		2後		2								1	
特別支援教育		3前		2								1	
授業観察演習		3後		1		2	1	2					
授業実践演習		3後		1		2	1	2					
関連科目		行動科学概論	2前		2		1						
	心理統計法	2前		2								1	
	心理学基礎実験	2後		2								1	
	心理学実験演習	3後		2								1	
	社会心理学	2後		2								1	
	コミュニケーション心理学	4後		2		1							
	臨床心理学	2後		2			1						
	発達臨床心理学	3前		2			1						
	心理療法概論	3前		2			1						
	心理検査法	4後		2			1						
	発育・発達論	2前		2								1	
	医学・スポーツ医学	2前		2								1	
	解剖学・機能解剖学	3後		2								1	
	栄養学・スポーツ栄養学	3後		2								1	
	健康づくりの理論と方法	2後		2		1		1					
	心の健康と行動	3後		2								1	
	スポーツ指導法	2後		2		1							
	運動プログラム管理	3後		2			1						
	健康運動実践指導I	3前		2								1	
	健康運動実践指導II	3後		2								1	
生涯スポーツI	3前		1								1		
生涯スポーツII	3後		1								1		
生涯スポーツIII	4前		1								1		
地域スポーツ指導I	4前		2			1	1						
地域スポーツ指導II	4後		2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	初等教職体験実習	1前	1			1		1				
	幼児教職体験実習	1前	1			1		1				
	中等教職体験実習	1前	1			1		1				
	健康体験実習	1前	1				1	1				
	初等教育実習 事前事後指導	4前	1			1	1					
	初等教育実習	4前	4			1	1					
	幼児教育実習 事前事後指導	4前	1					1			1	
	幼児教育実習	4前	4					1			1	
	保育実習指導Ⅰ	3後	2			2		1				
	保育実習Ⅰ	3後	4			2		1				
	保育実習指導Ⅱ	4前	1			2		1				
	保育実習Ⅱ	4前	2			2		1				
	中等教育実習 事前事後指導	4前	1			1		1				
	中等教育実習Ⅰ	4前	2			1		1				
	中等教育実習Ⅱ	4前	2			1		1				
	保育・教職 実践演習(幼)	4後	2			2		1				
	教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習 (中・高)	4後	2			1		1				
	健康実践演習	4前	1			1	1					
	科学研究	教育学研究法	4前	2			11	4				
	卒業研究	4後	2			11	4					
	小計(148科目)	-	12	267	0	11	4	4	0	0	兼42	
	合計(176科目)	-	28	289	0	11	4	4	0	0	兼54	
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	初等教職体験実習	1前	1			1		1				
	幼児教職体験実習	1前	1			1		1				
	中等教職体験実習	1前	1			1		1				
	健康体験実習	1前	1				1	1				
	初等教育実習 事前事後指導	4前	1			1	1					
	初等教育実習	4前	4			1	1					
	幼児教育実習 事前事後指導	4前	1					1			1	
	幼児教育実習	4前	4					1			1	
	保育実習指導Ⅰ	3後	2			2		1				
	保育実習Ⅰ	3後	4			2		1				
	保育実習指導Ⅱ	4前	1			2		1				
	保育実習Ⅱ	4前	2			2		1				
	中等教育実習 事前事後指導	4前	1			1		1				
	中等教育実習Ⅰ	4前	2			1		1				
	中等教育実習Ⅱ	4前	2			1		1				
	保育・教職 実践演習(幼)	4後	2			2		1				
	教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習 (中・高)	4後	2			1		1				
	健康実践演習	4前	1			1	1					
	科学研究	教育学研究法	4前	2			11	4				
	卒業研究	4後	2			11	4					
	小計(148科目)	-	12	267	0	11	4	4	0	0	兼42	
	合計(176科目)	-	28	289	0	11	4	4	0	0	兼55	
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法 情報活用法 統計分析法 問題解決法 創造思考法	1前 1後 1後 3前 3後	1 1 1 1 1			1					1 1 1 1
	表現力の養成	英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践) 日本語Ⅰ(読解、分析) 日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション) (未開講)	1前 1後 2前 1前 1前 1後 2前	1 1 1 1 1 1 1		1						2 1 1 1 1 1 1
	人間力の養成	自己管理と社会規範 チームワークとリーダーシップ 地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係	1前 2前 1前 1後	1 1 1 1		1						1 1
	社会能力の養成	社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ	3後 4後	1 1								1 1
	人間の理解	心理と行動 健康と運動 歴史と文化 民族と宗教 生命と倫理	1前 1前 2後 2後 4後		2 2 2 2 2		1					1 1 1 1
	社会の理解	社会と憲法 法律と人権 政治と行政 経済と政策 自然と環境	1前 1後 2前 2前 4後		2 2 2 2 2							1 1 1 1
	小計(28科目)		-	16	22	0	2	1	0	0	0	兼17
	専門 教育 科目	基幹科目	人間形成論 心理学概論 対人関係論 道徳教育論 教育学概論(幼・小) 教育学概論(中・高) 教育心理学(幼・小) 教育心理学(中・高) 教育行政学(幼・小) 教育行政学(中・高) 教職概論(幼・小) 教職概論(中・高)	1前 1前 1後 1後 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 1後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1 1 1 1 1 1
		展開科目	国語 社会 算数 理科 生活 音楽 図画工作 家庭 体育 外国語活動 初等教科教育法(国語)	2前 2後 2前 2後 2前 2前 2前 2後 2前 2前 3前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1		1 1 1 1 1 1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	初等教科教育法(社会)	3後		2								1
	初等教科教育法(算数)	3前		2		1						
	初等教科教育法(理科)	3前		2								1
	初等教科教育法(生活)	3前		2								1
	初等教科教育法(音楽)	3前		2		1						
	初等教科教育法(図画工作)	3前		2			1					
	初等教科教育法(家庭)	3後		2								1
	初等教科教育法(体育)	3前		2			1					
	教育課程論(幼・小)	2前		2								1
	道徳の指導法(小)	2後		2								1
	特別活動の指導法(小)	3後		2								1
	教育方法論(幼・小)	2後		2								1
	児童・進路指導の理論と方法(小)	3前		2								1
	教育相談の理論と方法(幼・小)	3後		2			1					
	保育内容総論	2前		2								1
	保育内容(健康)	2後		2								1
	保育内容(人間関係)	2後		2								1
	保育内容(環境)	3前		2								1
	保育内容(言葉)	3前		2								1
	保育内容(表現Ⅰ)	3前		2		1						
	保育内容(表現Ⅱ)	3後		2			1					
	幼児理解の理論と方法	2後		2								1
	保育原理	1後		2								1
	子どもの心理学Ⅰ	2前		2								2
	子どもの心理学Ⅱ	2後		1								2
	児童家庭福祉	2後		2		1						
	社会福祉	2後		2		1						
	相談援助	3前		1		1						
	社会的養護	2後		2		1						
	子どもの保健Ⅰ	3前		4								1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1								1
	子どもの食と栄養	3後		2								1
	家庭支援論	3前		2		1						
	乳児保育	3前		2								1
	障害児保育	3後		2								1
	社会的養護内容	3後		1		1						
	言語表現	2後		2								1
	体育実技Ⅰ	1後		1		1						1
	体育実技Ⅱ	2前		1								2
	体育実技Ⅲ	2前		1								2
	体育実技Ⅳ	2後		1								1
	体育実技Ⅴ	2後		1		1						
	体育実技Ⅵ	1後		1								1
	体育実技Ⅶ	2後		1			1	1				
	体育原理	1後		2								2
	運動学・運動方法学	2後		2		1						
	体育心理学	2前		2								1
体育経営管理学	2後		2								1	
体育社会学	2前		2								1	
生理学・運動生理学	2前		2			1					1	
衛生学・公衆衛生学	3前		2		1							
学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	展開科目	学校安全(救急処置を含む)	3後	2		1						
	中等教科教育法 I (体育)	3前	2		1							
	中等教科教育法 II (体育)	3後	2		1							
	中等教科教育法 III (保健)	3前	2								1	
	中等教科教育法 IV (保健)	3後	2								1	
	教育課程論(中・高)	2前	2			1						
	道徳の指導法(中)	2後	2			1						
	特別活動の指導法(中・高)	3前	2								1	
	教育方法論(中・高)	2前	2								1	
	生徒・進路指導の理論と方法(中・高)	3後	2								1	
	教育相談の理論と方法(中・高)	3後	2								1	
	体力測定・評価法	2後	2				1					
	運動部活動の指導法(未開講)	3後	2			1	1					
	コーチング論	2前	2			1						
	トレーニング論	3前	2				1					
	健康管理論	2前	2			1	1					
	健康教育論(未開講)	2後	2								1	
	バイオメカニクス	2後	2								1	
	発展科目	発達心理学	2後	2								1
	学校心理学	3後	2			1						
	カウンセリング論	3前	2				1					
	学校・学級経営	3前	2			1						
	チーム学校論	4後	2								1	
	発達障害	2後	2								1	
	特別支援教育	3前	2								1	
	授業観察演習	3後	1			2	1	1			1	
	授業実践演習	3後	1			2	1	1			1	
	関連科目	行動科学概論	2前	2		1						
	心理統計法	2前	2								1	
	心理学基礎実験	2後	2								1	
	心理学実験演習	3後	2								1	
	社会心理学	2後	2								1	
	コミュニケーション心理学	4後	2			1						
	臨床心理学	2後	2				1					
	発達臨床心理学	3前	2				1					
	心理療法概論	3前	2				1					
	心理検査法	4後	2				1					
	発育・発達論	2前	2								1	
	医学・スポーツ医学	2前	2								1	
	解剖学・機能解剖学	3後	2								1	
	栄養学・スポーツ栄養学	3後	2								1	
	健康づくりの理論と方法	2後	2			1		1				
心の健康と行動(未開講)	3後	2								1		
スポーツ指導法	2後	2			1							
運動プログラム管理	3後	2				1						
生活習慣病と身体運動	3後	2								1		
健康運動特講 I	3前	2								1		
健康運動特講 II	3後	2								2		
健康運動実践指導 I	3前	2								1		
健康運動実践指導 II	3後	2								1		
生涯スポーツ I	3前	1								1		
生涯スポーツ II	3後	1								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連科目	生涯スポーツⅢ	4前	1								1	
		地域スポーツ指導Ⅰ	4前	2			1	1					
		地域スポーツ指導Ⅱ	4後	2			1	1					
	実習科目	初等教職体験実習	1前	1		1							1
		幼児教職体験実習	1前	1		1		1					
		中等教職体験実習	1前	1		1		1					
		健康体験実習	1前	1			1	1					
		初等教育実習 事前事後指導	4前	1		1	1						
		初等教育実習	4前	4		1	1						
		幼児教育実習 事前事後指導	4前	1				1					1
		幼児教育実習	4前	4				1					1
		保育実習指導Ⅰ	3後	2		2		1					
		保育実習Ⅰ	3後	4		2		1					
		保育実習指導Ⅱ	4前	1		2		1					
		保育実習Ⅱ	4前	2		2		1					
		中等教育実習 事前事後指導	4前	1		1		1					
		中等教育実習Ⅰ	4前	2		1		1					
		中等教育実習Ⅱ	4前	2		1		1					
		保育・教職 実践演習(幼)	4後	2		2		1					
		教職実践演習(小)	4後	2		1	1						
	教職実践演習 (中・高)	4後	2		1		1						
	健康実践演習	4前	1		1	1							
	研究 科目	教育学研究法	4前	2			11	4					
		卒業研究	4後	2			11	4					
	小計(151科目)		-	12	273	0	11	4	3	0	0	0	兼45
	合計(179科目)		-	28	295	0	11	4	3	0	0	0	兼57
	卒業要件及び履修方法												
<p>基礎教育科目においては、 「思考力の養成」から必修5科目5単位、 「表現力の養成」から必修を含めて5科目5単位以上、 「人間力の養成」から必修4科目4単位、 「社会力の養成」から必修2科目2単位、 「人間の理解」から2科目4単位以上、 「社会の理解」から2科目4単位以上、 合わせて28単位以上を修得すること。</p> <p>専門教育科目においては、 「基幹科目」から必修を含めて8科目16単位以上、 「展開科目」から30単位以上、 「発展科目」及び「関連科目」から10単位以上、 「実習科目」及び「研究科目」から必修を含めて3科目5単位以上、 合わせて96単位以上を修得すること。</p> <p>基礎教育科目と専門教育科目を合わせて、124単位以上を修得すること。</p> <p>履修科目の登録の上限:44単位(年間)</p>													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

教職課程認定の関係で、「児童・進路指導の理論と方法(小)」の「兼任・兼任1」の担当者を変更した。

【令和元年度】

健康上の理由により、「情報処理法」の専任教員の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更した。
 教員の退職により、「社会と憲法」「法律と人権」の「兼任・兼任1」の担当者を変更した。
 健康上の理由により、「体育実技Ⅲ」の「兼任・兼任2」のうち1名の担当者を変更した。

【令和2年度】

教育内容の充実を図るため、「生活習慣病と身体運動」「健康運動特講Ⅰ」「健康運動特講Ⅱ」の科目を追加し、「兼任・兼任」を追加した。
 教員の退職により、「教育課程論(幼・小)」「教育方法論(幼・小)」「教育方法論(中・高)」「授業観察演習」「授業実践演習」「初等教職体験実習」の専任教員(講師)を「兼任・兼任」に変更した。
 健康上の理由により、「保育内容総論」「保育内容(言葉)」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。
 教員の都合により、「初等教科教育法(理科)」「教育相談の理論と方法(中・高)」の配当年次(前期・後期)を変更した。
 教員の都合により、「学校保健(小児保健・精神保健を含む)」「健康教育論」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。
 教員の都合により、「心の健康と行動」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。

【令和3年度】

附帯事項(完成年度後の教員組織編制)を考え、准教授2名を教授に昇格、講師1名を准教授に昇格した。(AC教員審査で認可済み)
 ・「教育心理学(幼・小)」「教育相談の理論と方法(幼・小)」「カウンセリング論」「臨床心理学」「心理療法概論」「発達臨床心理学」「卒業研究」の准教授を教授に変更した。
 ・「健康と運動」「体育実技Ⅶ」「生理学・運動生理学」「体力測定・評価法」「運動部活動の指導法」「トレーニング論」「健康管理論」「運動プログラム管理」「地域スポーツ指導Ⅰ」「地域スポーツ指導Ⅱ」「健康体験実習」「健康実践演習」「教育学研究法」「卒業研究」の准教授を教授に変更した。
 ・「授業観察演習」「授業実践演習」「幼児教職体験実習」「幼児教育実習事前事後指導」「幼児教育実習」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」「保育・教職実践演習(幼)」の講師を准教授に変更した。また、「教育学研究法」「卒業研究」の准教授を1名追加した。
 退職者の後任が決まり、「教育課程論(幼・小)」「教育方法論(幼・小)」「教育方法論(中・高)」「授業観察演習」「授業実践演習」「初等教職体験実習」の兼任・兼任を専任教員(講師)に変更した。(AC教員審査で認可済み)
 教員の退職により、「児童家庭福祉」「家庭支援論」「幼児教職体験実習」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」「保育・教職実践演習(幼)」を教授から兼任・兼任に変更した。また、「教育学研究法」「卒業研究」の教授を1名減らした。
 教員の都合により、「社会的・職業的自立Ⅰ」「社会的・職業的自立Ⅱ」の「兼任・兼任」の担当者を変更した。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	154 科目	0 科目	176 科目	22 科目 []	157 科目 []	0 科目 []	179 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{176} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	育英短期大学 (必要面積 6,800㎡)と共有		
	校舎敷地	0 ㎡	13,990.39 ㎡	0 ㎡	13,990.39 ㎡			
	運動場用地	0 ㎡	15,171.18 ㎡	0 ㎡	15,171.18 ㎡			
	小 計	0 ㎡	29,161.57 ㎡	0 ㎡	29,161.57 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	19,206.41 ㎡	0 ㎡	19,206.41 ㎡			
	合 計	0 ㎡	48,367.98 ㎡	0 ㎡	48,367.98 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	育英短期大学 (必要面積 5,800㎡)と共有			
	1,587.70 ㎡ (1,587.70 ㎡)	8,234.15 ㎡ (8,234.15 ㎡)	936.72 ㎡ (936.72 ㎡)	10,758.57 ㎡ (10,758.57 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	16室	37室	4室	2室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	教育学部 教育学科		24 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	育英短期大学と 共用分を含む 56,322 56,485 56,463 55,794 図書 53,227冊 〔 3,955 〕 〔 3,040 〕 〔 3,984 〕 〔 3,957 〕 〔 3,941冊 〕 5,505 5,204 学術雑誌 5,073 5,045種 〔 5,474 〕 〔 5,173 〕 〔 5,041 〕 〔 5,013種 〕 図書は育英短期大学の経 常経費で購入した図書を 追加 (30) 育英大学・育英短期大学 の経常経費で購入した図 書を追加 (元)
	教育学部 教育学科	60,000 [4,200]	5,545 [5,485]	5,479 [5,478]	24		0	
		60,021 [4,178]	5,244 [5,184]	5,178 [5,177]	21			
		59,280 [4,178]	5,115 [5,052]	5,046 [5,045]	18			
		55,687 [4,061]	5,087 [5,024]	5,016 [5,015]	10	2,074	0	
		(59,944 [4,151])	(5,545 [5,485])	(5,479 [5,478])	(24)			
		(60,021 [4,178])	(5,244 [5,184])	(5,178 [5,177])	(21)			
		(59,280 [4,178])	(5,115 [5,052])	(5,046 [5,045])	(18)	(2,074)		
		(55,687 [5,061])	(5,087 [5,024])	(5,016 [5,015])	(10)	(1,276)	(0)	
	計	60,000 [4,200]	5,545 [5,485]	5,479 [5,478]	24		0	
	60,021 [4,178]	5,244 [5,184]	5,178 [5,177]	21				
	59,280 [4,178]	5,115 [5,052]	5,046 [5,045]	18				
	55,687 [4,061]	5,087 [5,024]	5,016 [5,015]	10	2,074	0		
	(59,944 [4,151])	(5,545 [5,485])	(5,479 [5,478])	(24)				
	(60,021 [4,178])	(5,244 [5,184])	(5,178 [5,177])	(21)				
	(59,280 [4,178])	(5,115 [5,052])	(5,046 [5,045])	(18)	(2,074)			
	(55,687 [5,061])	(5,087 [5,024])	(5,016 [5,015])	(10)	(1,276)	(0)		

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
	576.45㎡		110席		60,000冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	2825.97㎡ 2163.05㎡		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,000千円	4,500千円	2,000千円
		共同研究費等	1,000千円	1,500千円	設備購入費	65,031千円	37,469千円	1,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,300千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	育英大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	該当なし	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
教育学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学科	4	100	-	400	学士(教育学)	0.99	1.11	-	平成30	群馬県高崎市京目町1656-1	
児童教育専攻	4	50	-	200	学士(教育学)	0.95	1.06	-	平成30	同上	
スポーツ教育専攻	4	50	-	200	学士(教育学)	1.04	1.16	-	平成30	同上	
大学全体	4	100	-	400	-	0.99	1.11	-	-	-	
大学の名称	育英短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	該当なし	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
保育学科	2	240	-	480	短期大学士(保育学)	0.85	0.90	-	昭和52	群馬県高崎市京目町1656-1	
現代コミュニケーション学科	2	100	-	200	短期大学士(コミュニケーション学)	0.81	0.80	-	平成14	同上	
大学全体	2	340	-	680	-	0.83	0.85	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	新井 保幸 <平成30年4月> 教育学修士	人間形成論 教育学概論(幼・小) 教育学概論(中・高) 教職概論(幼・小)※ 教職概論(中・高) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	本村 清人 <平成30年4月> 体育学士	体育実技V 中等教科教育法I(体育) 中等教科教育法II(体育) 教育課程論(中・高) 運動部活動の指導法 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習I 中等教育実習II 教職実践演習(中・高) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	朝岡 正雄 <平成30年4月> 博士(体育科学)	体育実技I※ 運動学・運動方法学 コーチング論 スポーツ指導法 教育学研究法 卒業研究
専	教授	小野澤 昇 <平成31年4月> 教育学士	社会福祉 相談援助 社会的養護 社会的養護内容 授業観察演習 授業実践演習 保育実習指導I 保育実習I 保育実習指導II 保育実習II 保育・教職実践演習(幼) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	蘭 千壽 <平成30年4月> 教育学博士	心理学概論 対人関係論 教育心理学(中・高) 学校心理学 学校・学級経営 行動科学概論 コミュニケーション心理学 教育学研究法 卒業研究
専	教授	西谷 泉 <平成30年4月> 教育学修士	情報処理法 情報活用法 算数 初等教科教育法(算数) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	熊木 眞見子 <平成30年4月> 芸術学士	音楽 初等教科教育法(音楽) 保育内容(表現I) 教育学研究法 卒業研究
専	教授	中島 弘道 <平成30年4月> 修士(学術)	国語 初等教科教育法(国語) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習 初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 教職実践演習(小) 教育学研究法 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 講師	和田 博史	<平成30年4月> 博士(体育科学)
		体育 中等教職体験実習 中等教育実習事前事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専 講師	正保 佳史	<平成30年4月> 修士(教育学)
		体育実技Ⅶ 健康づくりの理論と方法※ 地域スポーツ指導Ⅰ 地域スポーツ指導Ⅱ 健康体験実習
兼任 講師	大島 宗哲	<平成30年4月> 博士(工学)
		統計分析法
兼任 講師	三浦 哲也	<平成31年4月> 修士(環境科学)※
		問題解決法 創造思考法 民族と宗教
兼任 講師	小林 徹	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅰ(基礎)
兼任 講師	上原 景子	<平成30年4月> Ph.D. in Linguistics(米国)
		英語Ⅰ(基礎) 外国語活動
兼任 講師	James Joseph Hill	<平成30年4月> 文学修士
		英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)
兼任 講師	佐藤 達全	<平成30年4月> 文学修士※
		日本語Ⅰ(読解、分析) 生命と倫理 教職概論(幼・小)※ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼)
兼任 講師	櫻田 涼子	<平成30年4月> 博士(文学)
		日本語Ⅱ(作文、論文) 日本語Ⅲ(発表、討論) 日本語Ⅳ(プレゼンテーション)
兼任 講師	大佐古 紀雄	<平成31年4月> 修士(文学)※
		チームワークとリーダーシップ チーム学校論
兼任 講師	大宮 登	<平成30年4月> 社会学修士
		地域活動と社会貢献
兼任 講師	藤島 喜代仁	<令和2年4月> 法学士
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
兼任 講師	泉水 清志	<平成30年4月> 修士(心理学)※
		心理と行動 心理統計法 心理学実験演習 社会心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	竹内 一夫 <平成31年4月> 医学博士	学校保健(小児保健・精神保健を含む) 健康教育論
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	鬼澤 陽子 <平成31年4月> 博士(体育科学)	体育実技Ⅲ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	竹内 一夫 <平成31年4月> 医学博士	学校保健(小児保健・精神保健を含む) 健康教育論
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	鬼澤 陽子 <平成31年4月> 博士(体育科学)	体育実技Ⅲ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	竹内 一夫 <平成31年4月> 医学博士	学校保健(小児保健・精神保健を含む) 健康教育論
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	鬼澤 陽子 <平成31年4月> 博士(体育科学)	体育実技Ⅲ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養 健康運動特講Ⅱ※
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田(佐藤) 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	保育内容(人間関係) 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	金子 仁 <令和2年4月> 文学士	保育内容(環境)
兼任	講師	小池 庸生 <平成31年4月> 文学修士※	子どもの心理学Ⅰ※ 子どもの心理学Ⅱ※ 発達心理学 心理学基礎実験
兼任	講師	李 英姿 <令和2年4月> 博士(医学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	大塚 恵美子 <令和2年4月> 修士(保健学)	子どもの食と栄養 健康運動特講Ⅱ※
兼任	講師	栗山 宣夫 <令和2年4月> 修士(教育学)	障害児保育
兼任	講師	佐塚 公代 <平成31年4月> 家政学士	言語表現
兼任	講師	高橋 靖彦 <平成30年4月> 修士(体育学)	体育実技Ⅰ※
兼任	講師	中雄 勇人 <平成31年4月> 博士(医学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 真二 <平成31年4月> 博士(教育学)	体育実技Ⅱ※
兼任	講師	後藤 貴浩 <平成31年4月> 博士(公共政策学)	体育実技Ⅳ 体育経営管理学 体育社会学
兼任	講師	松本 富子 <平成30年4月> 体育学修士	体育実技Ⅵ
兼任	講師	友添 秀則 <平成30年4月> 博士(人間科学)	体育原理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)			村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)			村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)			村越 芳美 <平成31年4月> 法務博士(専門職)
					社会と憲法 法律と人権			社会と憲法 法律と人権			社会と憲法 法律と人権			社会と憲法 法律と人権
			兼任	講師	永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)			永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)			永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)			永井 真紀 <平成31年4月> 修士(体育学)
					体育実技Ⅲ※			体育実技Ⅲ※			体育実技Ⅲ※			体育実技Ⅲ※
			兼任	講師	榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)			榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)			榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)			榎輪 欣房 <令和2年4月> 修士(学術)
					教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習			教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習			教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習			教育課程論(幼・小) 教育方法論(幼・小) 教育方法論(中・高) 授業観察演習 授業実践演習 初等教職体験実習
			兼任	講師	石河 信雅 <令和2年4月> 法学士			石河 信雅 <令和2年4月> 法学士			石河 信雅 <令和2年4月> 法学士			石河 信雅 <令和2年4月> 法学士
					保育内容総論			保育内容総論			保育内容総論			保育内容総論
			兼任	講師	仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)			仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)			仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)			仲本 美央 <令和2年4月> 博士(学術)
					保育内容(言葉)			保育内容(言葉)			保育内容(言葉)			保育内容(言葉)
			兼任	講師	松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)			松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)			松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)			松本 隆太郎 <令和2年4月> 博士(医学)
					生活習慣病と身体運動			生活習慣病と身体運動			生活習慣病と身体運動			生活習慣病と身体運動
			兼任	講師	鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士			鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士			鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士			鯉淵 典之 <令和2年4月> 医学博士
					健康運動特講Ⅰ			健康運動特講Ⅰ			健康運動特講Ⅰ			健康運動特講Ⅰ
			兼任	講師	松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)			松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)			松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)			松尾 智晶 <令和3年4月> 修士(政策・メディア)
					社会的・職業的自立Ⅰ			社会的・職業的自立Ⅰ			社会的・職業的自立Ⅰ			社会的・職業的自立Ⅰ
			兼任	講師	手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)			手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)			手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)			手塚 貴子 <令和3年4月> 修士(公共政策学)
					社会的・職業的自立Ⅱ			社会的・職業的自立Ⅱ			社会的・職業的自立Ⅱ			社会的・職業的自立Ⅱ

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・教職課程認定の関係で、角野善司兼任講師を吉田浩之兼任講師に変更した。

【令和元年度】

・健康上の理由により、西谷泉専任教員の「情報処理法」を福室秀一兼任講師に変更した。
・教員の都合により、金光寛之兼任講師を村越芳美兼任講師に変更した。
・健康上の理由により、鬼澤陽子兼任講師を永井真紀兼任講師に変更した。

【令和2年度】

・蓑輪欣房講師退職。現在公募しており後任未定であるが、専任教員を採用予定。後任選定後AC教員審査が通るまで、同教員が兼任で担当する。
・健康上の理由により、柳晋兼任講師の「保育内容総論」を石河信雅兼任講師、「保育内容（言葉）」を仲本美央兼任講師に変更した。
・教員の都合により、竹内一夫兼任講師を高橋克典兼任講師に変更（科目追加）した。
・教員の都合により、宮崎博子兼任講師を高橋克典兼任講師に変更（科目追加）した。
・新規科目追加により、大塚恵美子兼任講師、高橋克典兼任講師の科目を追加した。
・新規科目追加により、松本隆太郎兼任講師、鯉淵典之兼任講師を新たに追加した。

【令和3年度】

・大塚良一教授が退職したため、専任教員を採用予定。後任選定までは、非常勤講師（佐藤達全兼任講師、柳晋兼任講師、吉野真弓兼任講師）が対応する。複数人で担当している科目は、同科目を担当している別の教員が対応する。
・附帯事項等（完成年度前の適切な教員組織の編制）に基づき、星野真由美准教授を教授に昇格。（令和3年2月AC教員審査済み。一部保留科目があるため、現在再審査中。）
・附帯事項等（完成年度前の適切な教員組織の編制）に基づき、柳川美磨准教授を教授に昇格。（令和3年2月AC教員審査済み）
・附帯事項等（完成年度前の適切な教員組織の編制）に基づき、望月文代講師を准教授に昇格。（令和3年2月AC教員審査済み）
・蓑輪欣房講師の退職により、田中怜講師に変更。（令和2年11月AC教員審査済み）左記に伴い、蓑輪欣房兼任講師辞任。
・教員の都合により、藤島喜代仁兼任講師を松尾智晶兼任講師、手塚貴子兼任講師に変更した。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
17 名	9 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
11	4	4	0	19	0	12	3	3	0	18	0
(9)	(2)	(4)	(0)	(15)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	3	3	0	18	0	10	4	5	0	19	0
[1]	[Δ1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[Δ1]	[]	[1]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	8 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{19} = \boxed{94.73} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{8}{18} = \boxed{44.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	蓑輪 欣房	H30.4	選択	教育課程論（幼・小）	①	R2.3.31付け本人の都合のため辞任（2）
				選択	教育方法論（幼・小）	①	
				選択	教育方法論（中・高）	①	
				選択	授業観察演習	①	
				選択	教育実践演習	①	
				選択	初等教科教育法	①	
2	教授	大塚 良一	H30.4	選択	児童家庭福祉	②	R3.3.31付け本人の都合のため辞任（3）
				選択	家庭支援論	②	
				選択	幼児教職体験実習	②	
				選択	保育実習指導Ⅰ	②	
				選択	保育実習Ⅰ	②	
				選択	保育実習指導Ⅱ	②	
				選択	保育実習Ⅱ	②	
				選択	保育・教職実践演習（幼）	②	
				必修	教育学研究法	①	
				必修	卒業研究	①	
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	6	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	6	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{19} = 10.52\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>後任人事に関しては、公募をして募集を募る。後任が決まるまでは、兼任講師を充てて対応する。また、必修科目2科目については、複数人で担当する科目のため、同科目を担当している別の教員が担当する。 専任教員の辞任の連絡は、オリエンテーションで周知する。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項 設置計画を確実に履行するため、「大学運営会議」を設置し、設置の趣旨・目的等を履行してきた。また、「FD・SD専門委員会」を設置し、教育研究活動の水準向上に努めてきた。	履行済 今後も引き続きFD・SD研修を行い、教育研究活動の水準を向上させる研修を実施していく。
認 可 時 (平成29年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 「大学運営会議」で、教員組織の将来構想について検討し、准教授を教授に、講師を准教授に昇格（AC教員審査済み）させた。	履行中 完成年度後の後任人事については、育英短期大学からの異動や公募による教員組織編制を検討している。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・入学定員未充足の改善に努めること。	指摘事項 (改善) 平成30年度、令和元年度入学生は、編入学制度を設け、定員未充足分を補填した。また、令和2年度、令和3年度は、定員を超える入学生が入学し、収容定員は平均して100%に近い数値になった。	履行済 今後も高校訪問やオープンキャンパスで大学の魅力を伝え、大学のPRを行い、定員充足を維持するよう努める。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。	指摘事項 (改善) 「大学運営会議」で、教員組織の将来構想について検討し、准教授を教授に、講師を准教授に昇格（AC教員審査済み）させた。	履行中 完成年度後の後任人事については、育英短期大学からの異動や公募による教員組織編制を検討している。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①編入学入試 実施しない	①編入学入試 定員未充足分として、2年次編入学入試を実施し、平成31年4月に2名の学生が入学した。(元) 定員未充足分として、2・3年次編入学入試を実施し、令和2年4月に2年次編入が2名、3年次編入が3名入学した。(2) 定員未充足分として、3年次編入学入試を実施し、令和3年4月に3年次編入が4名入学した。(3)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 総務企画委員会の下にFD・SD専門委員会を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 年に2回実施(委員会構成は教員8名、事務3名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>①教育内容及び方法の改善を図る取組の計画及び実施に関すること。 ②教育研究活動の活性化を図る取組の計画及び実施に関すること。 ③学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関すること。 ④大学運営に必要な能力及び資質の向上を図る取組の計画及び実施に関すること。 ⑤その他教職員の研修及び実施に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) FD・SD研修を実施</p> <p>①授業(成績評価)への統計の活用 ②教学マネジメントと職員のこれからの働き方ーコロナ危機を大学改革に繋げる視点から ③障害学生支援理解・啓発セミナー</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1) FD・SD研修を3回実施</p> <p>上記①については内部講師により講義形式で実施した。 上記②については外部講師によるリモート講演で実施した。(他大学と共同開催) 上記③についてはJASSOのネット研修で実施した。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（1）FD・SD研修

- ①授業（成績評価）への統計の活用（教員を対象に実施。教員参加率89.5%）
- ②教学マネジメントと職員のこれからの働き方—コロナ危機を大学改革に繋げる視点から（教職員を対象に実施。教員参加率94.7%）
- ③障害学生支援理解・啓発セミナー（教職員を対象に実施。教員参加率73.7%）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業担当者は、アンケート集計結果について科目ごとにアンケート結果についての自己評価を行い今後の改善への取り組みについて、報告書を委員長に提出する。

さらに、アンケート中の「授業内容・方法」に関する5つの設問において、平均が3.0未満(5段階評価)となった場合、当該項目の原因等の自己分析を行い、今後の改善への取り組みについて、報告書を委員長に提出する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

a 実施の有無及び実施時期

実施時期は、前期（7、8月）・後期（2、3月）で実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

科目毎のアンケート結果は、アンケート終了から約1ヵ月後に各科目担当教員に返却した。

アンケート結果を踏まえ、教員毎に授業に関する自己点検・自己評価を行い、報告書を提出し、その後の授業改善に活用した。

その他、集計結果を大学ホームページで公表する予定。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 総務企画委員会の下に自己点検・評価専門委員会を設置した。 構成員は、各専攻長、選出された教員、事務局長、各課長からなり、全学的に取り組むこととしている。 主な点検・評価内容としては、建学の精神と大学・学部の目的、教育課程や授業方法、教学マネジメント、学生支援、管理運営、地域貢献等を予定している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 令和3年3月</p> <p>b 公表方法 大学ホームページ上に公開する予定。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 完成年度後に適切な認証評価機関による第三者評価を受けるべく、学内で検討中。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後<input checked="" type="radio"/>3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 [該当なし]</p>

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

7 その他全般的事項

(2) 教員の資質の維持向上の方策 ①実施体制 a 委員会設置状況の関係規程

育英大学FD・SD専門委員会内規

(目的)

第1条 この内規は、育英大学総務企画委員会規則第8条の規定に基づき、育英大学FD・SD専門委員会（以下「専門委員会」という。）に関して必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 専門委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育内容及び方法の改善を図る取組の計画及び実施に関すること。
- (2) 教育研究活動の活性化を図る取組の計画及び実施に関すること。
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関すること。
- (4) 大学運営に必要な能力及び資質の向上を図る取組の計画及び実施に関すること。
- (5) その他教職員の研修及び研究の実施に関すること。

(組織)

第3条 専門委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各専攻長
- (2) 各専攻から選出された教員 各1人
- (3) 事務局長
- (4) 事務局管理課長及び教務課長
- (5) その他学長が指名する者 若干人

(任期)

第4条 前条第2号及び第5号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 専門委員会に委員長を置き、学長が指名する者をもって充てる。

- 2 委員長は、専門委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が議長となる。

(会議)

第6条 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聞くことができる。

(事 務)

第8条 専門委員会の事務は、事務局管理課及び教務課において処理する。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この内規は、平成30年3月13日に制定し、平成30年4月1日から施行する。